日医総研ワーキングペーパー

XML による診療情報提供書のタグ定義に関する研究

～標準化された診療情報交換方式の提言～

No.130

2006 年 7 月 12 日

日本医師会総合政策研究機構　矢野　一博

－目次－

1. はじめに 1
1.1. 目的 1
1.2. スコープ 1
1.3. 表記法 1
2. 用語の定義 3
3. 診療情報提供書 XML タグ設計方針 4
3.1. 設計方針 4
3.2. MIRF アンケート結果 4
4. 診療情報提供書日医データ項目セット XML タグ仕様 6
4.1. 診療情報提供書文書情報 10
4.1.1. 名前空間 10
4.1.2. タイプ ID 10
4.1.3. テンプレート ID 10
4.1.4. 文書 ID 11
4.1.5. 文書種別コード 12
4.1.6. 文書タイトル 12
4.1.7. 紹介状作成日 12
4.1.8. 守秘レベルコード 13
4.1.9. 患者 ID 情報 13
4.1.10. 紹介元医療機関・医師情報 14
4.1.11. 文書管理責任組織情報 14
4.1.12. 紹介先医療機関・医師情報 14
4.1.13. 紹介状内容（ボディ） 14
4.1.14. 例 15
4.2. 患者 ID 16
4.2.1. ID 番号 16
4.2.2. 氏名（カナ） 17
4.2.3. 氏名（漢字） 17
4.2.4. 性別 18
4.2.5. 生年月日 18
4.2.6. 住所 19
4.2.7. 電話番号 19
4.2.8. 例 20
4.3. 紹介元医療機関・医師 21
4.3.1. 紹介状作成日時 21
4.3.2. 紹介元医師 ID 22
4.3.3. 紹介元医師電話番号 22
4.3.4. 紹介元医師氏名（カナ） 23
4.3.5. 紹介元医師氏名（漢字） 23
4.3.6. 紹介元診療科名称 24
4.3.7. 紹介元医療機関名称 24
4.3.8. 紹介元医療機関住所 25
4.3.9. 例 27
4.4. 文書管理責任組織 28
4.4.1. 文書管理責任組織 ID 28
4.4.2. 文書管理責任組織名称 29
4.4.3. 例 29
4.5. 紹介先医療機関・医師 30
4.5.1. 紹介先医師氏名 30
4.5.2. 紹介先診療科名称 31
4.5.3. 紹介先医療機関名称 31

4.5.4. 例 33
4.6. 患者情報 34
4.6.1. 患者背景情報 34
4.6.1.1. 年齢 35
4.6.1.2. 血液型 36
4.6.1.3. 身長 36
4.6.1.4. 体重 37
4.6.1.5. 例 38
4.6.2. 職業 40
4.6.3. 嗜好 40
4.6.4. 家族構成 41
4.6.5. アレルギー 42
4.6.6. 感染症 43
4.7. 紹介内容 44
4.7.1. 目的 44
4.7.2. 希望 45
4.7.3. 留意点 45
4.7.4. 例 46
4.8. 既往歴 48
4.8.1. 既往歴 48
4.8.2. 家族歴 49
4.8.3. 例 50
4.9. 現症 51
4.9.1. 主訴 51
4.9.2. 病名 52
4.9.3. バイタルサイン 53
4.9.3.1. 最高・最低血圧 54
4.9.3.2. 体温 56
4.9.3.3. 脈拍数 57
4.9.3.4. 不整脈有無 59
4.9.4. 診断内容 60
4.9.5. 現病歴 61
4.9.6. 症状経過 61
4.9.7. 例 63
4.10. 検査結果 67
4.10.1. 検査結果の記述方法 67
4.10.2. 外部参照ファイルの記述方法 71
4.11. 現在の処方（現投与） 73
4.11.1. 薬剤 74
4.11.1.1. コード化された薬剤情報の記述 75
4.11.1.2. 頻度情報の記述 76
4.11.1.3. 例 78
4.11.1.4. 投与の有無 81
4.11.2. 注射 81
4.12. 手術・処置 84
4.13. 備考 85
付録 A. ボキャブラリドメイン 86
A.1. AdministrativeGender 86
A.2. Confidentiality 86
A.3. MediaType 86
A.4. NullFlavor 87
A.5. RouteOfAdministration 87

A.6. StyleType 93
A.7. TelecommunicationAddressUse 93
A.8. TimingEvent 94
A.9. Unit 94
A.10. JMASectionCode 95
A.11. 外部コード 95
A.11.1. 年齢 95
A.11.2. 血液型 96
A.11.3. 身長 96
A.11.4. 体重 96
A.11.5. 血圧 96
A.11.6. 体温 97
A.11.7. 脈拍数 97
A.11.8. 不整脈有無 97
付録 B. 叙述ブロックの記述について(Informative) 98
B.1. <content>タグ 98
B.2. <linkHtml>タグ 98
B.3. <sub>タグと<sup>タグ 99
B.4.
タグ 99
B.5. <footnote>タグと<footnoteRef>タグ 99
B.6. <renderMultiMedia>タグ 99
B.7. <paragraph>タグ 99
B.8. <list>タグ 99
B.9. <table>タグ 99
B.10. <caption>タグ 99
B.11. styleCode 属性 100
付録 C. 識別子(Instance Identifier)について 101
付録 D. 参考文献 101

まえがき

日本医師会（以下、日医）は、「医師会総合情報ネットワーク構想」（1997 年 情報化検討委員会）、「日医 IT 化宣言」（2001 年 11 月）の発表、IT 化宣言の取り組みのひとつである ORCA プロジェクトの展開など、医療の現場に視点を置いた様々な IT 化に関する施策を実施してきた。

一方、政府においても高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT 戦略本部）による「e-Japan 戦略」（2001 年）、「e-Japan 戦略Ⅱ」（2003 年）、「IT 新改革戦略」（2006 年）とそれらの戦略達成のための施策集である「重点計画」等で医療分野の IT 化が重点的に取り上げられている。

このように、医療分野における IT 化の流れは確定的ともいえ、今後、ますますその位置付けは増してくるであろう。

ところが、このような情勢にも係わらず、根幹となる部分で取り残されているとも思える事柄がある。「標準化」、「互換性」、「セキュリティ」である。先の 2001 年に発表した「日医 IT 化宣言」では、医療現場における情報化において、これら 3 つの要素は欠かすことのできないものであり、日医はその問題解決を図ると謳っている。

実際、日医の取り組みでは、医事会計システムと電子カルテ間の情報伝達手段として CLAIM といわれる規格を実装して標準化を図っている。また、保有するデータはコンピュータ移行時に必要に応じて取り出しが可能なようにして互換性の確保も図られている。さらに、セキュリティの確保された IT 基盤を実現するための検討も重ね、公開鍵認証基盤（Public Key Infrastructure：PKI）の枠組みを使った認証局の構築・運営にも取り掛かっている。特に、2005 年 4 月の個人情報保護法の全面施行もあり、情報の安全性は IT 化における重要な要素となった。日医はいち早くこの問題に向きあってきており、認証局システムの完成を踏まえて、現在、2 地域で認証局の機能である電子署名の実証実験を実施している。

この実証実験の目的は、開発された認証局の機能の確認をすることと併せて、電子文書の作成責任者の明確化および非改ざん性の検証を行うことである。対象となる文書は診療情報提供書（紹介状）とし、これに電子署名を付与することで実験を進めている。

実証実験において紹介状をターゲットにしたのは、医師による署名捺印のいる文書であり、また、医療情報交換のために最も活用されている文書のひとつであったからである。実験では紹介状を PDF で作成し、この PDF に電子署名することで、まずは作成責任者の明確化と非改ざん性の検証を行った。

しかし、本来の IT 化の意味合いからすれば、PDF のみで情報連携をすることは困難である。紹介状を目視で確認したり、他の申請の添付書類として使用するのであれば PDF でも十分であるが、これを機械的に HIS（Hospital Information System）に取り込もうと思えば、やはり何らかの取り決め（規格）に則ったデータ形式をやり取りしなくてはならない。直接規格をやり取りするか、PDF に規格を添付してやり取りするかの方式は別としても、発信側／受信側双方で解釈のできる規格が必要である。

そこで、日医の認証局プロジェクトの一環として、今般、診療情報提供書データ項目セットの XML タグ仕様書を策定した。

本仕様書は、現在、多くの医療情報システムで実質的な標準となっている HL7 CDA R2 に準拠した形で、認証局プロジェクトで診療情報交換に必要な項目を独自に精査した上で作成したものである。

今後、この仕様書が診療情報提供書の交換データの標準化に向けた一助となれば幸いである。

2006 年 7 月

日医総研　矢野　一博

1. はじめに

1.1. 目的

本仕様書は、電子的に作成される診療情報提供書（以下、紹介状）のデータ項目セットを、XML（eXtensible Markup Language）で記述する際の XML タグ仕様を規定するものである。本仕様を定義するにあたり、まず、民間病院を中心とした医療情報連携フォーラム（MIRF）における加盟病院へのアンケート調査や公開情報などを収集し、多方面からの意見を集約した。それらを総合的に検討し日医総研として紹介状に必要なデータ項目セット（日医データ項目セット）を定義した。

本書で定義する XML タグ仕様は、診療文書のマークアップ言語の国際標準規格である Clinical Document Architecture Release 2 [1]（以下、CDA R2）に完全に準拠する。

なお、本仕様書は、日医の認証局プロジェクトにおける研究成果としてとりまとめたものである。今後、本仕様をベースに日本医師会認証局プロジェクトで進めている電子署名付きの電子紹介状について実装を検討する。

1.2. スコープ

本仕様書が対象とする紹介状は、主に診療所から病院への患者紹介に用いられるものを対象とする。本仕様書では、紹介状の XML 記述にのみ焦点を絞り、紹介状の提供手段や管理方法、利用方法については規定しない。

1.3. 表記法

本仕様書では、紹介状の各項目の XML タグ仕様を以下の表形式で示す。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..*	O
E	code	セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。	1..1	M
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。	1..1	R

「**XPath**」の列に示される”/ClinicalDocument”から開始される文字列は、紹介状 XML のルート要素から、この表で示される XML 要素までのパスを XPath [2] により記述したものである。例えば上の表中の XPath “/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section” は、以下の XML の青枠で囲まれた section 要素の仕様を記述していることを示す。

```
<ClinicalDocument>
  <component>
    <structuredBody>
      <component>
        <section>
          <code code="ABC" displayName="123" />
          <title />
        </section>
        ...
</ClinicalDocument>
```

「**要素(E)/(A)**」欄は、表中に示される項目が、”**E**” – XML 要素であるか、あるいは”**A**” – XML 属性であるかを示す。例えば上の表中の code は XML 要素であり、@code と@displayName は、その code 要素の XML 属性であることを意味する。

「**多重度**」は、指定された項目の出現数の最小値と最大値を”..”の両端に示す形で表現する。最大値に制限が無い場合は、”*”(アスタリスク)によって表現される。例えば、上の例で、section 要素に付けられた”0..*”という多重度は、指定された section 要素が XML 中に 0 個以上複数出現し、その出現数の最大値には制限がないことを示す。

「**選択性**（オプショナリティ）」は、**M**（Mandatory）、**R**（Required）、**O**（Optional）の 3 つの値で表現される。M は、必須値であり、NULL ではない値が必ず存在しなければならない。R は、記述すべき値が存在する場合には必ず記述されなければならないが、もし存在しない場合には、値が無いという事実を示す適切なヌル値を指定することが可能である。O はオプショナル項目であり、記述すべき値が存在しない場合には、省略することが可能である。M または R が指定されている項目の多重度の最小値は必ず 1 以上となる。

表中で XML 要素の階層の上位にある項目に対して下位に位置する項目の多重度を指定する場合、下位の項目の多重度は、上位の項目が出現した場合の多重度を記載する。例えば、上の例で、section 要素の選択性が O（Optional）であるのに、その下位の code 要素の選択性が M（Mandatory）であるのは、section 要素が存在する状況での code 要素の選択性を示しており、section 要素が存在するときには code 要素が必ず出現しなければならないことを意味する。

2. 用語の定義

本規格書内で使用する用語を以下に説明する。

- **CDA R2** (Clinical Document Architecture, Release 2)
  診療文書の標準マークアップを規定した規格。ANSI 認可で HL7 バージョン 3 規格ファミリーの一部。

- **HL7 バージョン 3** (HL7 Version 3)
  HL7(Health Level Seven)協会が開発する、保健医療分野における情報の電子的交換のための交換規約を、メッセージという形で定めた標準化規格。規格で定義されるすべてのメッセージ内容は、RIM（Reference Information Model）と呼ばれる共通の参照情報モデルを用いて定義される。

- **HL7 バージョン 3 Normative Edition 2005** (HL7 Version 3 Normative Edition 2005)
  HL7 バージョン 3 規格のうち、これまで ANSI (American National Standards Institute) で承認された規格のみを採録した、HL7 バージョン 3 で初めての規範版の標準化規格。HL7 協会は、今後、年に 1 回、このような規範版をリリースする予定である。CDA R2 規格の最新版も ANSI に認可されており、Normative Edition 2005 に採録されている。

- **XML スキーマ** (XML Schema)
  XML 文書の取り得る構造を記述した文書。XML スキーマ自体は XML 文書として記述される。

- **メッセージ型** (Message Type)
  HL7 バージョン 3 規格において、システム間で交換される一連の情報内容を定義したもの。XML 実装技術仕様に基づき、XML スキーマとして実装される。HL7 では、メッセージ型を識別するために成果物 ID という識別子を付与する。CDA R2 のメッセージ型は、POCD_MT00040 という ID で識別される。そのメッセージ型に対応する XML スキーマファイルは、メッセージ型の成果物 ID をそのファイル名として有する（例: POCD_MT000040.xsd）。

- **ボキャブラリドメイン** (Vocabulary Domain)
  コード化された属性の有効な値としてとりうるすべての概念の集合。

3. 診療情報提供書 XML タグ設計方針

3.1. 設計方針

本仕様で定義する XML タグ仕様は、HL7 バージョン 3 規格の一つである CDA R2 (ANSI/HL7 CDA, R2-2005 4/21/2005 版）に完全に準拠する。

本仕様は、CDA R2 に完全準拠するという方針ゆえに、現時点では他で策定が進められている同様の規格とは完全に整合性が取れていない箇所がある。しかしながら、日本における規格策定作業が進んだ場合にはそれら規格との整合性も今後検討し、必要に応じて本規格の修正もしくはそれらの規格の修正の依頼も行なっていく。

本仕様書は、CDA R2 規格に対して、より強い制約を課した規格となっている。これは、例えば、CDA R2 ではオプショナルである項目が、本仕様では必須（Mandatory）項目として制約されることや、CDA R2 で多重度が 0..*である項目に対して、本仕様では多重度を 1..1 に制約することを意味する。また CDA R2 では任意のコード体系が使用可能なデータ項目に対して、使用すべきコード体系を限定するという制約も含まれる。これらの原則により、本規格に準拠するドキュメントは必ず CDA R2 規格にも準拠する。

CDA のセクション及びサブセクションの構成に関しては、MIRF によるアンケート調査の結果を反映させた。セクションの種別を識別するセクションコードについては、本規格では必須項目とした。このセクションコードとして現時点で使用可能なコードとして、CDA SIG において、LOINC または電子保存された診療録情報の交換のためのデータ項目セット（J-MIX）を用いることが推奨されている。しかしながら、いずれのコード体系も、本仕様のセクション構成に完全に対応するものではないため、日本医師会においてローカルコードを定義し、それを用いた。

データ項目セットの XML 化に関して、HL7 バージョン 3 の XML 実装技術仕様では、XML スキーマ中に固定値やデフォルト値が指定されている属性については XML インスタンス内で省略することが許されている。本仕様書では、単純化のために、そのような固定値及びデフォルト値が指定された属性は XML インスタンスに明示しない方針で設計する。また、CDA R2 規格でオプショナル項目として許されているが、本仕様書では必要ない要素、属性については可能な限り省略する。

CDA R2 において必要(Required)と指定されている項目のうち本仕様では必要でない項目に関しては、記載すべき値が無いことを明示的に示す値をヌル値として指定する。このとき指定される値は、付録 A.4 の HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor で定義される値から指定するが、本仕様ではこのうち”NI”（No Information）のみを使用するように限定した。

3.2. MIRF アンケート結果

本仕様書を策定するにあたり、セクション及びサブセクションの構成を定めるために MIRF で実施したアンケート結果を掲載する。

このアンケートにおいて特徴的であったのは、検査結果に係わる必要度であり、いずれの項目においても診療情報交換すべき項目としてそれほど重要視されていないことが判明した。従って、本仕様書においては、検査結果については検査結果のセクション自体をオプションとしている。

ただし、本アンケートの結果は、電子的に作成された診療情報提供書を想定した調査ではない。そのため、今後、診療情報提供書が電子化された場合は、これらの結果も異なってくることも想定される。その際は、セクション構成含め、改めて見直しを実施することとする。

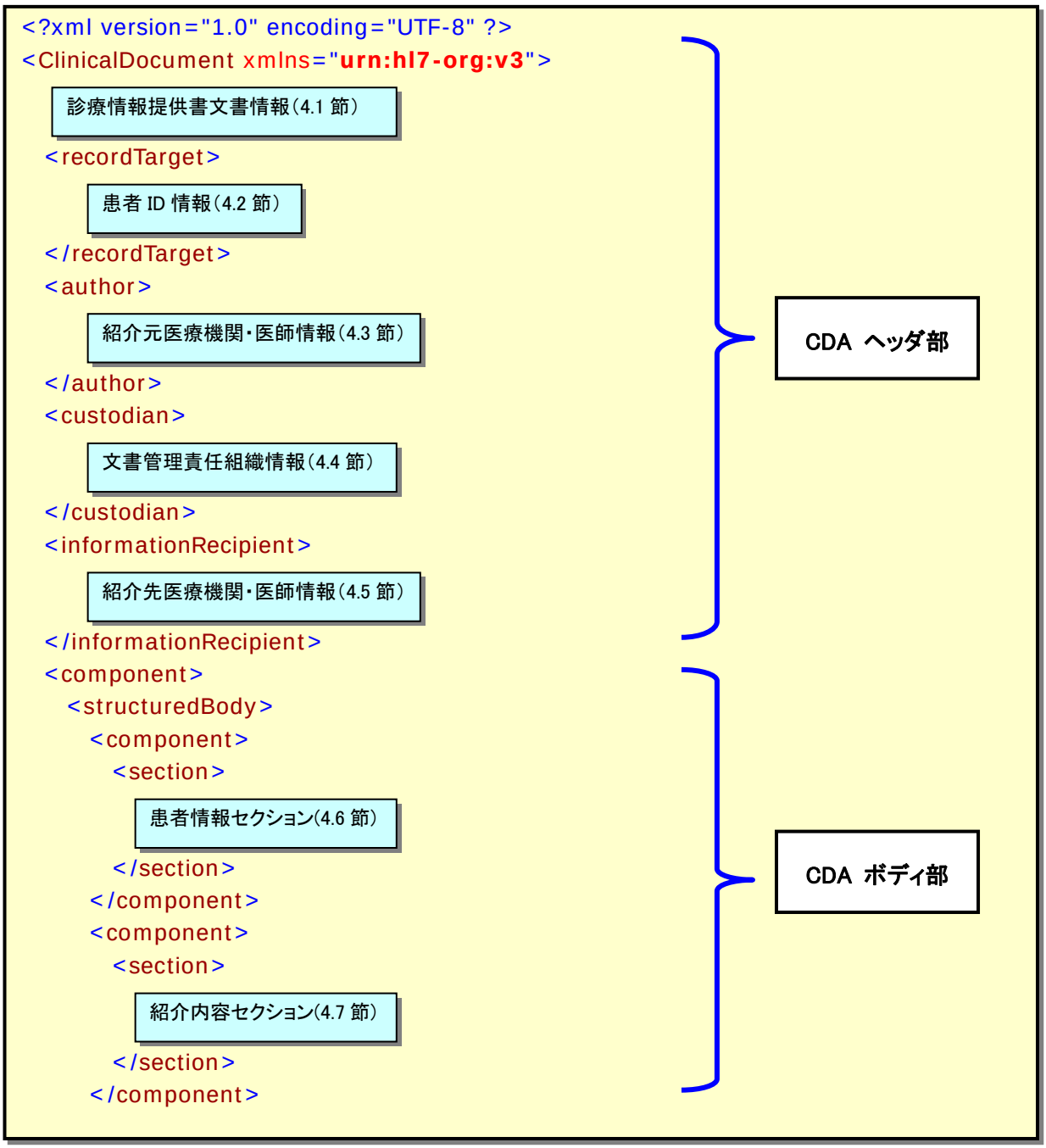
表 1 アンケート結果集計

診療情報提供書必要事項			不可欠	必要	なくても可	不要	その他
紹介	患者ID	ID番号	30%	30%	25%	11%	4%
		氏名(カナ)	68%	23%	7%	0%	2%
		氏名(漢字)	80%	16%	2%	0%	2%
		性別	75%	23%	0%	0%	2%
		生年月日	79%	20%	0%	0%	2%
		年齢	64%	29%	5%	0%	2%
		郵便番号	16%	36%	30%	16%	2%
		住所	30%	39%	20%	7%	4%
		電話番号	25%	41%	20%	9%	5%
	患者情報	職業	5%	38%	38%	9%	11%
		アレルギー情報	41%	41%	9%	4%	5%
		感染症情報	27%	45%	18%	4%	7%
		血液型	5%	34%	41%	11%	9%
		家族構成	2%	18%	54%	18%	9%
		嗜好	2%	25%	43%	23%	7%
		身長体重	2%	32%	41%	18%	7%
	紹介内容	目的	71%	27%	0%	0%	2%
		希望	34%	36%	14%	4%	13%
		留意点	27%	36%	21%	4%	13%
	既往歴	既往歴	38%	48%	9%	0%	5%
		家族歴	11%	48%	23%	5%	13%
	現症	主訴	59%	32%	5%	0%	4%
		病名	66%	25%	4%	0%	5%
		バイタルサイン	13%	38%	29%	9%	13%
	検査結果	血液検査データ	11%	38%	27%	4%	21%
		尿検査データ	4%	36%	32%	7%	21%
		心電図波形	2%	18%	43%	14%	23%
		心電図結果	5%	29%	36%	9%	21%
		超音波画像	4%	16%	45%	13%	23%
		超音波診断結果	5%	29%	36%	9%	21%
		胸部レントゲン(撮影有の場合)	7%	34%	30%	9%	20%
		CT(撮影有の場合)	7%	39%	23%	9%	21%
		MR(撮影有の場合)	9%	38%	23%	9%	21%
		その他の画像(撮影有の場合)	5%	34%	23%	9%	29%
	現処方	投薬内容	66%	30%	0%	0%	4%
		投薬の有無(現在)	50%	29%	2%	2%	18%
		注射	41%	36%	7%	7%	9%
	備考	備考	5%	36%	20%	4%	36%

4. 診療情報提供書日医データ項目セット XML タグ仕様

下図は本仕様書で規定される CDA 文書の構成の概要を示す。CDA 文書は大きくヘッダ部とボディ部から構成される。CDA のヘッダ部には、診療文書を管理するために必要なメタ情報が記述される。本紹介状の場合、紹介状文書情報（4.1 節）、患者 ID 情報（4.2 節）、紹介元医療機関・医師情報（4.3 節）、文書管理責任組織情報（4.4 節）、紹介先医療機関・医師情報(4.5 節)が CDA ヘッダ部に記述される。

CDA ボディ部には、紹介状の本文がセクションという単位で記述される。本仕様書では紹介状の本文として、患者情報（4.6 節）、紹介内容（4.7 節）、既往歴（4.8 節）、現症（4.9 節）、検査結果（4.10 節）、現処方（4.11 節）、手術処置（4.12 節）、備考（4.13 節）の 8 つのセクションを定義する。



各セクションは、そのセクションの種別を示すセクションコードと、ラベルとなるセクションタイトルを持たなければならない。以下は、病名を記述したセクションの例である。セクションコードは、code 要素にコード型データとして記述される。現時点で、我が国において診療文書のセクションの種別を識別するための適切なコード体系が存在しないため、本仕様では、セクションコードとして本仕様でローカルに定義したコード体系である JMA セクションコードを使用する。JMA セクションコードの詳細は、付録 A.10 に示す。セクションタイトルは、title 要素にテキストで記述する。

セクションの内容は、主に人が見て理解するための表示用テキストとして使用される**叙述ブロック**(Narative Block)と、機械処理のために必要な**エントリ**(Entry)の 2 通りの表現方法がある。叙述ブロックは、セクションの text 要素にテキスト情報として記述する。このとき、単にテキストだけではなく、HTML に類似するリスト(<list>)や表(<table>)といった、表示を補足するためのタグを指定することができる。叙述ブロックの表現方法については本仕様では規定しない。詳細は付録 B に示す。本仕様では、すべてのセクションで、叙述ブロックは必ず指定しなければならない（サブセクションを含むセクションは除く）。一方、エントリは、薬剤情報など、現段階で適切な標準コードを指定可能な項目、及び、バイタルサインのように、テキストではなく数値や物理量として値を扱うことが望まれる項目についてのみ使用するオプショナル項目である。

```
<section>
  <code code=" X-DX" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystem="JMASectionCode" />
  <title>病名</title>
  <text>腰部脊柱管狭窄症</text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="M4806" codeSystem="2.16.840.113883.6.3"
        codeSystemName="ICD10" />
    </observation>
  </entry>
</section>
```

セクションコード

セクションタイトル

叙述ブロック

エントリー

セクションは、component 要素によって再帰的に階層化することができる。これにより、セクションの下位にサブセクションを定義することができる。例えば紹介内容セクションは目的サブセクション、希望サブセクション、病名サブセクションから構成される。

```
<section>
  <code code="JMA-RFR" codeSystem="0.2.440.200134.100.1" />
  <title>紹介内容</title>
  <component>
    <section>
      <code code="JMA-ROR" codeSystem="0.2.440.200134.100.1" />
      <title>目的</title>
      <text>一般診療依頼</text>
    </section>
  </component>
  <component>
    <section>
      <code code="JMA-REQ" codeSystem="0.2.440.200134.100.1" />
      <title>希望</title>
      <text>貴病院での治療が終了する際にはご連絡下さい。</text>
    </section>
  </component>
  …
</section>
```

セクション

サブセクション

サブセクション

下表は、本仕様で規定する紹介状で使用されるセクション及びサブセクションの一覧である。参酌対象として、日本 HL7 協会 CDA SIG WG1 で規定される診療情報提供書規格[3]に、対応するセクションが存在するものは、その対応を記述する。また、各セクション及びサブセクションのセクションコードとして使用する JMA セクションコードと電子保存された診療録情報の交換のためのデータ項目セット（J-MIX）の対応項目を示す。セクション及びサブセクションに指定された文字列は、セクションタイトルとして使用する。

表 2 紹介状セクション構成

セクション	サブセクション	CDA SIG 対応セクション	セクションコード（JMA）	J-MIX 対応項目	多重度	選択性	記載節
患者情報			JMA-PTINFO		1..1	M	4.6
	背景情報		JMA-DEMOG		0..1	O	4.6.1
	職業	生活習慣/リスク要因	JMA-OCUP	MD0012810	0..1	O	4.6.2
	嗜好	生活習慣/リスク要因	JMA-FAV	MD0012980	0..1	O	4.6.3
	家族構成		JMA-FAMSTR		0..1	O	4.6.4
	アレルギー情報	アレルギー	JMA-ALGY	MD0014760	1..1	M	4.6.5
	感染症情報	感染症	JMA-INFCT	MD0014890 ～ MD0015390	1..1	M	4.6.6
紹介内容			JMA-RFR	MD0020730(情報提供説明)	1..1	M	4.7
	目的	目的	JMA-ROR	MD0020200	1..1	M	4.7.1
	希望		JMA-REQ		0..1	O	4.7.2
	留意点		JMA-ALRT		0..1	O	4.7.3
既往歴			JMA-PASTHIST	MD0014230	1..1	M	4.8
	既往歴	既往歴	JMA-PASTHIST	MD0014230	1..1	M	4.8.1
	家族歴	家族歴	JMA-FAMHIST	MD0014860	1..1	M	4.8.2
現症			JMA-PREILL		1..1	M	4.9
	主訴	傷病名又は主訴	JMA-CHCOMP	MD0018530	1..1	M	4.9.1
	病名	傷病名又は主訴	JMA-DISNM	MD0018870	1..1	M	4.9.2
	バイタルサイン	身体所見	JMA-VS	MD0018730	0..1	O	4.9.3
	診断内容	現疾患	JMA-DX	MD0022790	1..1	M	4.9.4
	現病歴	現疾患	JMA-PILHIST	MD0018550	1..1	M	4.9.5
	症状経過	現疾患	JMA-COSYMP		1..1	M	4.9.6
検査結果		検査、画像診断歴	JMA-LAB	MD0018800(検査結果) MD0020780～ MD0020850	0..1	O	4.10
現処方		現在の処方（現投与）	JMA-CURMED	MD0022780(現投与.処方指示)	1..1	M	4.11
	薬剤		JMA-MED	MD0020870	1..1	M	4.11.1
	注射		JMA-INJ	MD0020880	1..1	M	4.11.2
手術処置		手術・処置	JMA-SUG	MD0020890(手術) MD0020900(処置)	0..1	O	4.12
備考		備考	JMA-NOTE	MD0020330	0..1	O	4.13

4.1. 診療情報提供書文書情報

診療情報提供書の文書のトップレベルの XML 要素であり、文書のメタ情報を記述する。CDA R2 XML のルート要素である ClinicalDocument 要素と、以下の一連の子要素によって記述される。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument		1..1	M
E	typeId	タイプ ID。準拠している CDA R2 仕様を識別する。	1..1	M
E	templateId	テンプレート ID。適用される制約セットを識別する。	1..1	M
E	id	文書 ID。	1..1	R
E	code	診療文書の 種別を示すコード。	1..1	M
E	title	テキストでのドキュメントタイトル。	0..1	O
E	effectiveTime	紹介状の作成日。	1..1	M
E	confidentialityCode	文書の守秘レベルコード。NULL 値を指定する。	1..1	M
E	recordTarget	患者 ID 情報。	1..1	M
E	author	紹介元診療機関・医師情報。	1..1	M
E	custodian	文書管理責任組織情報。	1..1	M
E	informationRecipient	紹介先診療機関・医師情報。	1..1	M
E	component	紹介状内容（セクション）。	1..1	M

4.1.1. 名前空間

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は、”**urn :hl7-org :v3**”である。

4.1.2. タイプ ID

[必須 (M)]

タイプ ID は、CDA R2 仕様への技術中立的で明示的な参照を定義する。root 属性には、HL7 に登録されている成果物を表す OID である ”**2.16.840.1.113883.1.3**”を指定する。extension 属性には、CDA R2 仕様の「ANSI/HL7 CDA, R2-2005 4/21/2005」版を示す”**POCD_HD000040**”を指定する。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/typeId		1..1	M
A	@root	“**2.16.840.1.113883.1.3**” 固定(HL7 に登録されている成果物の OID)。	1..1	M
A	@extension	“**POCD_HD000040**”固定（CDA R2 仕様のバージョンを一意に識別する成果物識別子）。	1..1	M

```
<typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD00040" />
```

4.1.3. テンプレート ID

[必須 (M)]

テンプレート識別子は、CDA R2 仕様に適用される一連の制約を定義したテンプレートまたは実装ガイドを識別する。本仕様書で規定される XML インスタンスは、本仕様書を識別するテンプレート属性として、root 属性に”**0.2.440.200134.200.3**”を、extension 属性に、”**JMA_IMPL_REF_2006JUL**”をそれぞれ指定しなければならない。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/templateId		1..1	M
A	@root	テンプレートを一意に識別する OID。“0.2.440.200134.200.3 ” 固定。	1..1	M
A	@extension	テンプレートを示す識別子。“JMA_IMPL_REF_2006JUL ” 固定。	1..1	M

```
<templateId root="0.2.440.200134.200.3" extension="JMA_IMPL_REF_2006JUL" />
```

4.1.4. 文書 ID

[必要 (R)]

紹介状を一意に識別する ID を記述する。本仕様書では原則として文書 ID は記述しないため、nullFlavor 属性に、HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor より”NI” (No Information)を指定することにより、値が無いことを明示的に記述する。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/id		1..1	R
A	@nullFlavor	値がないことを明示的に示す“NI ”固定。	1..1	M

```
<id nullFlavor="NI" />
```

ただし、紹介状に固有の ID を付与したい場合には、(1) OID (Object Identifier)と識別子文字列の組み合わせ、あるいは、(2) UUID (DCE Universally Unique Identifier) の 2 種類の形式で文書 ID を記述することが可能である。

(1)OID と識別子文字列の組で表現される識別子は、その文書 ID を機械だけでなく人も解釈する必要がある場合に使用すべきである。このとき、紹介状を作成する医療機関は、文書 ID が世界的に一意であることを保証するために、何らかの適切な OID が利用可能でなければならない。また、識別子文字列は、その OID の元で一意であることが保証されなければならない。

一方、識別子が単に文書の一意性を保証するためだけに使用され、それゆえ、GUID など機械的なアルゴリズムにより作成される場合には、(2)UUID 形式を用いた方がよい。OID と UUID の詳細については付録 C を参照すること。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/id		1..1	R
A	@root	紹介状を一意に識別する OID。または UUID。	1..1	M
A	@extension	root に OID を使用する場合、OID と組み合わせて紹介状を一意に識別する文字列。	0..1	O

以下は、(1) OID と識別子文字列を使用する例である。

```
<id root="0.2.440.200134.200.2.15" extension=" REF214502345" />
```

(2) UUID を使用する場合は以下のように root 属性のみを使用する。

```
<id root="61d1a24f-b47e-41aa-ae95-f8ac302f4eeb" />
```

4.1.5. 文書種別コード

[必須 (M)]

文書種別を識別するコード。LOINC コードにおいて診療情報提供書を示す”**34140-4**”を指定する。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/code		1..1	M
A	@code	診療文書の種類を示すコード。LOINC コードの”**34140-4**”固定。	1..1	M
A	@codeSystem	コード体系を識別する OID。LOINC コードを識別する”**2.16.840.1.113883.6.1**”固定。	1..1	M
A	@codeSystemName	コード体系名を表す文字列。省略可能であるが記述する場合には”**LOINC**” を指定する。	0..1	O
A	@displayName	コードの表示名。省略可能であるが記述する場合には”**TRANSFER OF CARE REFERRAL NOTE**” を指定する。	0..1	O

```
<code code="34140-4" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC" displayName="TRANSFER OF CARE REFERRAL NOTE"/>
```

4.1.6. 文書タイトル

[オプション (O)]

紹介状のローカルな文書タイトルを示す文字列を指定する。任意の文字列を指定してもよい。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/title		0..1	O
–	テキスト要素	診療文書のタイトルを示す任意の文字列。	–	–

```
<title>診療情報提供書</title>
```

4.1.7. 紹介状作成日

[必須 (M)]

紹介状の作成日。日時は YYYYMMDDHHMMSS の形式で表現される。少なくとも年月日（YYYYMMDD）の精度が保証されなければならない。精度以下の桁は省略可能である。タイムゾーンは指定しない。その場合、時刻はローカルタイムとみなされる。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/effectiveTime		1..1	M
A	@value	診療文書の作成日。形式は YYYYMMDDHHMMSS。精度以下の桁は省略可能。	1..1	M

```
<effectiveTime value="20060401123456" />
```

4.1.8. 守秘レベルコード

[必要（R）]

診療文書の守秘レベルを識別するコード。本仕様では、守秘レベルコードは使用しないため、nullFlavor 属性に、HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor より”**NI**” (No Information)を指定することにより、値が無いことを明示的に記述する。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/confidentialityCode		1..1	R
A	@nullFlavor	値がないことを明示的に示す“**NI**”固定。	1..1	M

```
<confidentialityCode nullFlavor="NI" />
```

ただし、将来、守秘レベルコードを使用する場合は、HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality の中の値集合 x_BasicConfidentialityKind よりコード値を指定することができる。使用可能なコードの詳細は付録 A.2 に示す。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/confidentialityCode		1..1	R
A	@code	診療文書の守秘レベルを示すコード。HL7 で定義された値集合 x_BasicConfidentialityKind のコードを指定する。可能なコード値は付節 B の表 2 に示す。	1..1	M
A	@codeSystem	コード体系を識別する OID。HL7 で定義された Confidentiality コード体系を識別する”**2.16.840.1.113883.5.25**”固定。	1..1	M
A	@codeSystemName	コード体系名を表す文字列。 ”**Confidentiality**” を指定。	0..1	O
A	@displayName	コードの表示名。可能なコードの表示名は付節 A に示す。	0..1	O

```
<confidentialityCode code="N" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.25"
    codeSystemName="Confidentiality" displayName="nomal"/>
```

4.1.9. 患者 ID 情報

[必須（M）]

紹介状の記録対象者である患者の識別情報を記述する。詳細は 4.2 節に記載する。

要素(E)/属性(A)	Xpath	多重度	選択性
	/ClinicalDocument/recordTarget	1..1	M

```
<recordTarget>...</recordTarget>
```

4.1.10. 紹介元医療機関・医師情報

[必須 (M)]

紹介状の作成者である紹介元医療機関、及び紹介元医師の情報を記述する。詳細は 4.3 節に記載する。

要素(E)/属性(A)	Xpath	多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author	1..1	M

```
<author>...</author>
```

4.1.11. 文書管理責任組織情報

[必須 (M)]

作成した紹介状の管理責任を持つ組織として、作成元の医療機関の情報を記述する。詳細は 4.4 節に記載する。

要素(E)/属性(A)	Xpath	多重度	選択性
	/ClinicalDocument/custodian	1..1	M

```
<custodian>...</custodian>
```

4.1.12. 紹介先医療機関・医師情報

[必須 (M)]

紹介状の受け取り者である紹介先医療機関、及び紹介先医師の情報を記述する。詳細は 4.5 節に記載する。

要素(E)/属性(A)	Xpath	多重度	選択性
	/ClinicalDocument/informationRecipient	1..1	M

```
<informationRecipient>...</informationRecipient>
```

4.1.13. 紹介状内容（ボディ）

[必須 (M)]

紹介状の内容を記述する。内容は、複数のセクションに分けて記述され、それぞれ structuredBody 要素の子要素として component 要素及び、その子要素の section 要素で表現する。紹介状は、本仕様で必須と指定されている 1 つ以上のセクションを必ず含まなければならない。各セクション情報の詳細は 4.6 節以降に記載する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component		1..1	M
E	structuredBody	構造化ボディ。	1..1	M
E	structuredBody/component	ボディに含まれる各セクション情報への関連。	1..*	M
E	structuredBody/component/section	セクション情報。	1..1	M

```
<component>
   <structuredBody>
      <component>
         <section>...</section>
      </component>
      <component>
         <section>...</section>
      </component>
      ...
   </structuredBody>
</component>
```

4.1.14. 例

診療情報提供書の文書情報の XML 例を示す。

タイプ ID	POCD_HD00040 (OID は、2.16.840.1.113883.1.3)
テンプレート ID	JMA_IMPL_REF_2006JUL　(OID は、0.2.440.200134.200.3)
文書 ID	REF214502345 (OID は、0.2.440.200134.200.2.15)
文書種別コード	34140-4 (LOINC)
文書タイトル	診療情報提供書
作成日時	2006 年 4 月 1 日 12 時 34 分 56 秒

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3">
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD00040" />
  <templateId root="0.2.440.200134.200.3" extension="JMA_IMPL_REF_2006JUL" />
  <id root="0.2.440.200134.200.2.15" extension="REF214502345" />
  <code code="34140-4" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC" displayName="TRANSFER OF CARE REFERRAL NOTE"/>
  <title>診療情報提供書</title>
  <effectiveTime value="20060401123456" />
  <confidentialityCode nullFlavor="NI" />
  <!-- 患者情報 -->
  <recordTarget>...</recordTarget>
  <!-- 紹介元診療機関・医師情報 -->
  <author>...</author>
  <!-- 文書管理責任組織情報 -->
  <custodian>...</custodian>
  <!-- 紹介先診療機関・医師情報 -->
  <informationRecipient>...</informationRecipient>
  <!-- 紹介状内容(ボディ) -->
  <component>
     <structuredBody>
        <component>...</component>
        ...
     </structuredBody>
  </component>
</ClinicalDocument>
```

4.2. 患者 ID

[必須 (M)]

診療情報提供書がその記録対象とする患者を識別するための情報を記述する。以下の項目を含む。

- ID 番号
- 氏名（カナ）
- 氏名（漢字）
- 性別
- 生年月日
- 郵便番号
- 住所
- 電話番号

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/recordTarget		1..1	M
E	patientRole	患者情報を記述する。ID 番号(4.2.1 節)、郵便番号・住所(4.2.6 節)、電話番号(4.2.7 節)を含む。詳細は各節に記述。	1..1	M
E	patientRole/patient	患者個人情報を記述する。氏名（カナ）(4.2.2 節)、氏名（漢字）(4.2.3 節)、性別(4.2.4 節)、生年月日(4.2.5 節)を含む。詳細は各節に記述。	1..1	M

4.2.1. ID 番号

[必要 (R)]

患者の ID 番号を記述する。複数の識別子が存在する場合には、id 要素を繰り返し記述することにより記述する。患者 ID は、OID (Object Identifier)と識別子文字列の組み合わせで記述する。このとき、紹介状を作成する医療機関は、患者 ID が世界的に一意であることを保証するために、何らかの適切な OID が利用可能でなければならない。また、識別子文字列は、その OID の元で一意であることが保証されなければならない。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id		1..*	R
A	@root	識別子を一意にする OID または UUID を指定する。	1..1	M
A	@extension	識別子を表す文字列。root に UUID を使用する場合は省略。	0..1	O

```
<patientRole>
    <id root="0.2.440.200134.200.2.15.1" extension="P012345" />
</patientRole>
```

もし患者 ID を記述しない場合には、値が無いことを明示的に表現するために、nullFlavor 属性を使用し、nullFlavor 属性の属性値として、HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor より"NI" (No Information)を指定する。

```
<patientRole>
    <id nullFlavor="NI" />
</patientRole>
```

4.2.2. 氏名（カナ）

“

[必須 (M)]

患者のカナ氏名を記述する。姓と名はそれぞれ family 要素、given 要素に分けて記述する。もしミドルネームを記述する場合には、given 要素を複数個使用する。名とミドルネームはどちらも given 要素を使用するため、両者は出現順序により区別することしかできない。patient 要素内での氏名（カナ）と氏名（漢字）の出現順序は規定しない。アプリケーションは、name 要素の use 属性の値からどちらの項目かを区別しなければならない。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/name		1..1	M
A	@use	カタカナ（音節文字）であることを表す“ SYL“ 固定。	1..1	M
E	family	患者氏名のうちカナ姓を記述する。	1..1	M
–	テキスト内容	カナ姓の文字列。	–	–
E	given	患者氏名のうちカナミドルネームまたはカナ名を記述する。	1..*	M
–	テキスト内容	カナミドルネームまたはカナ名文字列。	–	–

```
<patient>
    <name use="SYL">
        <family>ニチイ</family>
        <given>タロウ</given>
    </name>
</patient>
```

4.2.3. 氏名（漢字）

[必須 (M)]

患者の漢字氏名を記述する。姓と名はそれぞれ family 要素、given 要素に分けて記述する。もしミドルネームを記述する場合には、given 要素を複数個使用する。名とミドルネームはどちらも given 要素を使用するため、両者は出現順序により区別することしかできない。patient 要素内での氏名（カナ）と氏名（漢字）の出現順序は規定しない。アプリケーションは、name 要素の use 属性の値からどちらの項目かを区別しなければならない。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/name		1..1	M
A	@use	漢字（表意文字）であることを表す“ IDE“ 固定。	1..1	M
E	family	患者氏名のうち姓（漢字）を記述する。	1..1	M
–	テキスト内容	姓（漢字）の文字列。	–	–
E	given	患者氏名のうちミドルネームまたは名（漢字）を記述する。	1..*	M
–	テキスト内容	ミドルネームまたは名（漢字）文字列。	–	–

```
<patient>
    <name use="IDE">
        <family>日医</family>
        <given>太郎</given>
    </name>
</patient>
```

4.2.4. 性別

[必須 (M)]

患者の性別コードを記述する。コードは、HL7 のボキャブラリドメイン AdministrativeGender で定義された性別コードを使用する。可能な値は付録 A.1 の通りである。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/administrativeGenderCode		1..1	M
A	@code	性別コード。付節 A.1 中のニーモニックを指定。	1..1	M
A	@codeSystem	性別コードのコード体系を識別する OID。HL7 で定義された性別コードを指定する“**2.16.840.1.113883.5.1**” 固定。	1..1	M
A	@codeSystemName	性別コードのコード体系名。省略可能だが、記述する場合は“**AdministrativeGender**”を指定。	0..1	O
A	@displyName	性別コードの表示名。省略可能だが、記述する場合は、付録 A.1 中の表示名を指定。	0..1	O

```
<patient>
  <administrativeGenderCode code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.1"
    codeSystemName="AdministrativeGender" displayName="男性" />
</patient>
```

4.2.5. 生年月日

[必須 (M)]

患者の生年月日を西暦で記述する。書式は YYYYMMDD とする。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/birthTime		1..1	M
A	@value	YYYYMMDD の書式で生年月日を記述する。	1..1	M

```
<patient>
    <birthTime value="19710123" />
</patient>
```

4.2.6. 住所

[必須 (M)]

患者の住所を記述する。郵便番号と都道府県名、市区部名は個別のタグでそれぞれ記述する。もし市区部名を分けることができない場合は、郵便番号及び都道府県名のみ個別のタグで記述し、残りの部分は streetAddressLine 要素に記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/addr		1..1	M
E	postalCode	郵便番号。	1..1	M
–	テキスト内容	郵便番号を表す文字列。ハイフンは含めても含めなくてもよい。	–	–
E	state	都道府県名。	1..1	M
–	テキスト内容	都道府県名を表す文字列。	–	–
E	city	市区部名。	1..1	M
–	テキスト内容	市区部名を表す文字列。	–	–
E	streetAddressLine	住所の市区部名以降の残りの部分。	1..1	M
–	テキスト内容	住所の市区部名以降の残りの部分を表す文字列	–	–

```
<patientRole>
    <addr>
        <postalCode>113-8621</postalCode>
        <state>東京都</state>
        <city>文京区</city>
        <streetAddressLine>本駒込2−28−16</streetAddressLine>
    </addr>
</patientRole>
```

4.2.7. 電話番号

[必須 (M)]

患者の電話番号を、value 属性に市外局番から記述する。電話番号は必ず"tel:"文字列で開始しなければならない。ハイフンや括弧は含めても含めなくてもよい。use 属性には、HL7 ボキャブラリドメイン TelecommunicationAddressUse から、可能な値を指定することができる（付録 A.7 を参照）。一般的には自宅の電話番号を意味する"H"、または職場の電話番号を表す"WP"が用いられる。telecom 要素を繰り返すことにより複数の電話番号を記述することができる。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/telecom		1..*	M
A	value	電話番号。tel : で始まる文字列。ハイフンや括弧を含めてもよい。	1..1	M
A	use	電話番号の利用種別を識別するコード。ボキャブラリドメイン TelecommunicatinAddressUse で定義されたコードを使用する。詳細は付録 A.7 を参照。	0..1	O

```
<patientRole>
    <telecom value="tel:03-1234-5678" use="H" />
</patientRole>
```

4.2.8. 例

患者 ID 情報の XML 例を示す。

患者 ID	P012345 （OID は、0.2.440.200134.200.15.1）
氏名（カナ）	ニチイタロウ
氏名（漢字）	日医太郎
性別	男性
生年月日	1971 年 1 月 23 日
郵便番号	113-8621
住所	東京都文京区本駒込２－２８－１６
電話番号	03-1234-5678 （自宅）

```
<ClinicalDocument>
  ...
  <!-- 患者情報 -->
  <recordTarget>
    <patientRole>
      <id root="0.2.440.200134.200.15.1" extension="P012345" />
      <addr>
        <postalCode>113-8621</postalCode>
        <state>東京都</state>
        <city>文京区</city>
        <streetAddressLine>本駒込２－２８－１６</streetAddressLine>
      </addr>
      <telecom value="tel:03-1234-5678" use="H" />
      <patient>
        <name use="SYL">
          <family>ニチイ</family>
          <given>タロウ</given>
        </name>
        <name use="IDE">
          <family>日医</family>
          <given>太郎</given>
        </name>
        <administrativeGenderCode code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.1" />
        <birthTime value="19710123" />
      </patient>
    </patientRole>
  </recordTarget>
  ...
</ClinicalDocument>
```

4.3. 紹介元医療機関・医師

[必須 (M)]

診療情報提供書の作成者である医師と医療機関の情報を記述する。以下の項目を含む。

- 紹介状作成日時
- 紹介元医師 ID
- 紹介元医師電話番号
- 紹介元医師氏名（カナ）
- 紹介元医師氏名（漢字）
- 紹介元診療科名称
- 紹介元医療機関名称
- 紹介元医療機関住所

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author		1..1	M
E	time	紹介状作成日時。	1..1	R
E	assignedAuthor	紹介元医師として、紹介状を作成した医師情報。紹介元医師 ID(4.3.2 節)、紹介元電話番号(4.3.3 節)を含む。詳細は各節に記述。	1..1	M
E	assignedAuthor/assignedPerson	紹介元医師の個人情報を記述。紹介元医師氏名（カナ）(4.3.4 節)、紹介元医師氏名（漢字）(4.3.5 節)を含む。詳細は各節に記述。	1..1	M
E	assignedAuthor/representedOrganization	紹介元診療科名称が存在する場合は紹介元診療科情報を記述し、紹介元診療科名称(4.3.6 節)を含む。存在しない場合は、紹介元医療機関情報を記述し、紹介元医療機関名称(4.3.7 節)、紹介元医療機関住所(4.3.8 節)を含む。詳細は各節に記述。	1..1	M
E	assignedAuthor/representedOrganization/asOrganizationPartOf	紹介元診療科名称が存在する場合に、紹介元医療機関情報への関連を記述。	0..1	O
E	assignedAuthor/representedOrganization/asOrganizationPartOf/wholeOrganization	紹介元診療科名称が存在する場合に、紹介元医療機関情報を記述。紹介元医療機関名称(4.3.7 節)、紹介元医療機関住所(4.3.8 節)を含む。詳細は各節に記述。	1..1	M

4.3.1. 紹介状作成日時

[必要 (R)]

紹介元医師が紹介状を作成するという行為に参加した日時を表現する。本仕様ではこの要素は使用しないため、値が無いことを示す HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor より、"NI"（No Information）を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author/time		1..1	M
A	@nullFlavor	値が無いことを示す"NI"固定。	1..1	M

```
<author>
    <time nullFlavor="NI" />
</author>
```

4.3.2. 紹介元医師 ID

[必要 (R)]

紹介状作成医師を識別する ID 番号を記述する。本仕様では原則としてこの要素は使用しないため、値が無いことを示す HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor より、"NI"(No Information)を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/id		1..*	R
A	@ nullFlavor	値が無いことを示す"NI"固定。	1..1	M

```
<assignedAuthor>
    <id nullFlavor="NI" />
</assignedAuthor>
```

ただし、もし紹介元医師 ID を指定する必要がある場合には、OID と識別子文字列の組み合わせを使用する。このとき root 要素には医師免許番号を識別する OID として"0.2.440.200134.200.1"を指定し、識別子文字列には医師免許番号を指定する[1]。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/id		1..1	R
A	@ root	識別子を一意にする OID。指定する場合は、医師免許番号を意味する"0.2.440.200134.200.1"を指定。	1..1	M
A	@extension	root 要素の OID の元でユニークな識別子文字列。指定する場合は医師免許番号。	0..1	M

```
<assignedAuthor>
    <id root="0.2.440.200134.200.1" extension="123456" />
</assignedAuthor>
```

4.3.3. 紹介元医師電話番号

[必須 (M)]

紹介元医師の連絡先電話番号を、telecom 要素の value 属性に市外局番から記述する。電話番号は必ず"tel:"文字列で開始しなければならない。ハイフンや括弧は含めても含めなくてもよい。telecom 要素を繰り返すことにより複数の電話番号を記述することができる。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/telecom		1..*	M
A	@value	電話番号。tel : で始まる文字列。ハイフンや括弧を含めてもよい。	1..1	M

[1] 現時点で、我が国において医師免許番号を識別する OID が存在しないために、日本医師会の OID の下位に医師免許番号を識別する OID を割り当てる(付録 C 参照)。

```
<assignedAuthor>
    <telecom value="tel:03-9876-5432" />
</assignedAuthor>
```

4.3.4. 紹介元医師氏名（カナ）

[必須 (M)]

紹介元医師のカナ氏名を表現する。姓と名はそれぞれ family 要素、given 要素に分けて記述する。もしミドルネームを記述する場合には、given 要素を複数個使用する。名とミドルネームはどちらも given 要素を使用するため、両者は出現順序により区別することしかできない。assignedPerson 要素内での紹介元医師氏名（カナ）と紹介元医師氏名（漢字）の出現順序は規定しない。アプリケーションは、name 要素の use 属性の値からどちらの項目かを区別しなければならない。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/assignedPerson/name		1..1	M
A	@use	カタカナ（音節文字）であることを表す“ SYL“ 固定。	1..1	M
E	family	紹介元医師氏名のうちカナ姓を記述する。	1..1	M
–	テキスト内容	カナ姓の文字列。	–	–
E	given	紹介元医師氏名のうちカナミドルネームまたはカナ名を記述する。	1..*	M
–	テキスト内容	カナミドルネームまたはカナ名文字列。	–	–

```
<assignedPerson>
    <name use="SYL">
      <family>ソウケン</family>
      <given>ジロウ</given>
    </name>
</assignedPerson>
```

4.3.5. 紹介元医師氏名（漢字）

[必須 (M)]

紹介元医師の漢字氏名を表現する。姓と名はそれぞれ family 要素、given 要素に分けて記述する。もしミドルネームを記述する場合には、given 要素を複数個使用する。名とミドルネームはどちらも given 要素を使用するため、両者は出現順序により区別することしかできない。assignedPerson 要素内での紹介元医師氏名（カナ）と紹介元医師氏名（漢字）の出現順序は規定しない。アプリケーションは、name 要素の use 属性の値からどちらの項目かを区別しなければならない。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/assignedPerson/name		1..1	M
A	@use	漢字（表意文字）であることを表す“ IDE“ 固定。	1..1	M
E	family	紹介元医師氏名のうち姓（漢字）を記述する。	1..1	M
–	テキスト内容	姓（漢字）の文字列。	–	–
E	given	紹介元医師氏名のうちミドルネームまたは名（漢字）を記述する。	1..*	M
–	テキスト内容	ミドルネームまたは名（漢字）文字列。	–	–

```
<assignedPerson>
    <name use="IDE">
      <family>総研</family>
      <given>次郎</given>
    </name>
</assignedPerson>
```

4.3.6. 紹介元診療科名称

[オプショナル（O)]

紹介元医師が所属する診療科の名称をテキストで記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/ author/assignedAuthor/representedOrganization/name		0..1	O
–	テキスト内容	紹介元診療科名称	–	–

```
<assignedAuthor>
    <representedOrganization>
        <name>内科</name>
    </representedOrganization>
</assignedAuthor>
```

4.3.7. 紹介元医療機関名称

[必須（M)]

紹介元医療機関の名称をテキストで記述する。オプション項目である、紹介元診療科名称が存在する場合と存在しない場合で、紹介元医療機関名称の記述方法が異なる。

(1) 紹介元診療科名称が存在する場合

assignedAuthor の子要素である representedOrganization 要素は、紹介元の診療科情報を表現する。その子要素である asOrganizationPartOf/wholeOrganization 要素で紹介元医療機関の情報を表現する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/ asOrganizationPartOf/wholeOrganization/name		1..1	M
–	テキスト内容	医療機関名称。	–	–

```
<assignedAuthor>
    <representedOrganzation>
        <name>内科</name>
        <asOrganzationPartOf>
            <wholeOrganzation>
                <name>日医医院</name>
            </wholeOrganzation>
        </asOrganzationPartOf>
    </representedOrganization>
</assignedAuthor>
```

(2) 紹介元診療科名称が存在しない場合

assignedAuthor の直接の子要素である representedOrganization 要素で紹介元医療機関の情報を表現する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/name		1..1	M
–	テキスト内容	医療機関名称。	–	–

```
<assignedAuthor>
    <representedOrganzation>
        <name>日医医院</name>
    </representedOrganization>
</assignedAuthor>
```

4.3.8. 紹介元医療機関住所

[必須 (M)]

紹介元医療機関の住所を記述する。郵便番号と都道府県名、市区部名は個別のタグでそれぞれ記述する。もし市区部名を分けることができない場合は、郵便番号及び都道府県名のみ個別のタグで記述し、残りの部分は streetAddressLine 要素に記述する。オプション項目である、紹介元診療科名称が存在する場合と存在しない場合とで、紹介元医療機関住所の記述方法が異なる。

(1) 紹介元診療科名称が存在する場合

assignedAuthor の子要素である representedOrganization 要素は、紹介元の診療科情報を表現する。その子要素である asOrganizationPartOf/wholeOrganization 要素で紹介元医療機関の情報を表現する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/asOrganizationPartOf/wholeOrganization/addr		1..1	M
E	postalCode	郵便番号。	1..1	M
–	テキスト内容	郵便番号の文字列。ハイフンは含んでも含まなくてもよい。	–	–
E	state	都道府県名。	1..1	M
–	テキスト内容	都道府県名の文字列。	–	–
E	city	市区部名。	1..1	M
–	テキスト内容	市区部名の文字列。	–	–
E	streetAddressLine	住所の市区部名以降の残りの部分。	1..1	M
–	テキスト内容	住所の市区部名以降の残りの部分の文字列。	–	–

```
<assignedAuthor>
    <representedOrganzation>
        <name>内科</name>
        <asOrganzationPartOf>
            <wholeOrganzation>
                <name>日医医院</name>
                <addr>
                    <postalCode>113-8621</postalCode>
                    <state>東京都</state>
                    <city>文京区</city>
                    <streetAddressLine>本駒込2－28－16</streetAddressLine>
                </addr>
            </wholeOrganzation>
        </asOrganzationPartOf>
    </representedOrganzation>
</assignedAuthor>
```

(2) 紹介元診療科名称が存在しない場合

assignedAuthor の直接の子要素である representedOrganization 要素で紹介元医療機関の情報を表現する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr		1..1	M
E	postalCode	郵便番号。	1..1	M
–	テキスト内容	郵便番号の文字列。ハイフンは含んでも含まなくてもよい。	–	–
E	state	都道府県名。	1..1	M
–	テキスト内容	都道府県名の文字列。	–	–
E	city	市区部名。	1..1	M
–	テキスト内容	市区部名の文字列。	–	–
E	streetAddressLine	住所の市区部名以降の残りの部分。	1..1	M
–	テキスト内容	住所の市区部名以降の残りの部分の文字列。 s	–	–

```
<assignedAuthor>
    <representedOrganzation>
        <name>日医医院</name>
        <addr>
            <postalCode>113-8621</postalCode>
            <state>東京都</state>
            <city>文京区</city>
            <streetAddressLine>本駒込2－28－16</streetAddressLine>
        </addr>
    </representedOrganzation >
</assignedAuthor>
```

4.3.9. 例

紹介元医療機関・医師情報の XML 例を示す。

紹介元医師氏名（漢字）	総研次郎
紹介元医師氏名（カナ）	ソウケンジロウ
紹介元医師電話番号	03-9876-5432
紹介元医療機関名称	日医医院
紹介元医療機関郵便番号	113-8621
紹介元医療機関住所	東京都文京区本駒込2－28－16
紹介元診療科名称	内科

```
<ClinicalDocument>
  ...
  <!-- 紹介元医療機関・医師情報 -->
  <author>
    <time nullFlavor="NI" />
    <assignedAuthor>
      <id nullFlavor="NI" />
      <telecom value="tel:03-9876-5432" />
      <assignedPerson>
        <name use="SYL">
          <family>ソウケン</family>
          <given>ジロウ</given>
        </name>
        <name use="IDE">
          <family>総研</family>
          <given>次郎</given>
        </name>
      </assignedPerson>
      <representedOrganization>
        <name>内科</name>
        <asOrganizationPartOf>
          <wholeOrganization>
            <name>日医医院</name>
            <addr>
              <postalCode>113-8621</postalCode>
              <state>東京都</state>
              <city>文京区</city>
              <streetAddressLine>本駒込2－28－16</streetAddressLine>
            </addr>
          </wholeOrganization>
        </asOrganizationPartOf>
      </representedOrganization>
    </assignedAuthor>
  </author>
  ...
</ClinicalDocument>
```

4.4. 文書管理責任組織

[必須 (M)]

診療情報提供書の文書管理責任組織として紹介元の医療機関の情報を記述する。以下の項目を含む。

- 文書管理責任組織 ID
- 文書管理責任組織名称

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/custodian		1..1	M
E	assignedCustodian	文書管理責任者情報。文書管理責任組織 ID を含む。詳細は 4.4.1 節。	1..1	M
E	assignedCustodian/representedCustodianOrganization	文書管理責任組織情報。文書管理責任組織名称を含む。詳細は 4.4.2 節。	1..1	M

4.4.1. 文書管理責任組織 ID

[必須 (M)]

文書管理責任組織（紹介元医療機関）を識別する ID 番号を記述する。ID は、OID と識別子文字列の組み合わせを使用する。このとき root 要素には医療機関 ID を識別する OID として”**0.2.440.200134.200.2**”を指定し、識別子文字列には保険医療機関コードを指定する[2]。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/custodian/assignedCustodian/representedCustodianOrganization/id		1..1	M
A	@root	医療機関 ID を一意に識別する OID を指定する。保険医療機関コードの OID である“**0.2.440.200134.200.2**“ 固定。	1..1	M
A	@extension	医療機関 ID として保険医療機関コードを指定する。	1..1	M

```
<custodian>
    <assignedCustodian>
        <representedCustodianOrganization>
            <id root="0.2.440.200134.200.2" extension="1234567" />
        </representedCustodianOrganization>
    </assignedCustodian>
</custodian>
```

[2]現時点で、我が国において保険医療機関 ID を識別する OID が存在しないために、日本医師会の OID の下位に保険医療機関 ID を識別する OID を割り当てる（付録 C 参照）。

4.4.2. 文書管理責任組織名称

[オプション (O)]

文書管理責任組織（紹介元医療機関）の名称を記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/custodian/assignedCustodian/representedCustodianOrganization/name		0..1	O
-	テキスト内容	文書管理責任組織名称。	-	-

```
<custodian>
    <assignedCustodian>
        <representedCustodianOrganization>
            <name>日医医院</name>
        </representedCustodianOrganization>
    </assignedCustodian>
</custodian>
```

4.4.3. 例

文書管理責任組織情報の XML 例を示す。

文書管理責任組織 ID	1234567 （OID は、0.2.440.200134.200.2）
文書管理責任組織名称	日医医院

```
<ClinicalDocument>
  ...
  <!-- 文書管理責任組織情報 -->
  <custodian>
    <assignedCustodian>
      <representedCustodianOrganization>
        <id root="0.2.440.200134.200.2" extension="1234567" />
        <name>日医医院</name>
      </representedCustodianOrganization>
   </assignedCustodian>
  </custodian>
  ...
</ClinicalDocument>
```

4.5. 紹介先医療機関・医師

[必須 (M)]

診療情報提供書の受け取り者としての紹介先医療機関・医師情報を記述する。以下の項目を含む。

- 紹介先医師氏名
- 紹介先診療科名称
- 紹介先医療機関名称

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/informationRecipient		1..1	M
E	intendedRecipient	紹介状の紹介先情報。	1..1	M
E	intendedRecipient/informationRecipient	紹介先医師情報。紹介先医師氏名（漢字）を含む。詳細は 4.5.1 節。	1..1	M
E	intendedRecipient/receivedOrganization	紹介先診療科名称が存在する場合、紹介先診療科情報を記述し、紹介先診療科名称(4.5.2 節)を含む。存在しない場合、紹介先医療機関情報を記述し、紹介先医療機関名称(4.5.3 節)を含む。詳細は各節に記述。	0..1	O
E	intendedRecipient/receivedOrganization/asOrganizationPartOf	紹介先診療科名称が存在する場合、紹介先医療機関情報への関連。	0..1	O
E	intendedRecipient/receivedOrganization/asOrganizationPartOf/wholeOrganization	紹介先診療科名称が存在する場合、紹介先医療機関情報を記述し、紹介先医療機関名称(4.5.3 節)を含む。詳細は各節に記述。	1..1	M

4.5.1. 紹介先医師氏名

[必須 (M)]

紹介先医師の漢字氏名を表現する。姓と名はそれぞれ family 要素、given 要素に分けて記述する。もしミドルネームを記述する場合には、given 要素を複数個使用する。名とミドルネームはどちらも given 要素を使用するため、両者は出現順序により区別することしかできない。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/informationRecipient/intendedRecipient/informationRecipient/name		1..1	M
A	@use	漢字（表意文字）であることを表す“IDE“ 固定。	1..1	M
E	family	紹介先医師氏名のうち姓（漢字）を記述する。	1..1	M
–	テキスト内容	姓（漢字）の文字列。	–	–
E	given	紹介先医師氏名のうちミドルネームまたは名（漢字）を記述する。	1..*	M
–	テキスト内容	ミドルネームまたは名（漢字）文字列。	–	–

```
<intendedRecipient>
    <informationRecipient>
        <name use="IDE">
          <family>山田</family>
          <given>花子</given>
        </name>
    </informationRecipient>
</intendedRecipient>
```

もし紹介先医師名が紹介状作成時に決まらない場合は、医師名が無いことを明示的に示すために、HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor から、”**NI**” (No Information)を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/informationRecipient/intendedRecipient/informationRecipient/name		1..1	**M**
A	@nullFlavor	値が無いことを表す“ **NI**“ 固定。	1..1	**M**

```
<intendedRecipient>
    <informationRecipient>
        <name nullFlavor="NI" />
    </informationRecipient>
</intendedRecipient>
```

4.5.2. 紹介先診療科名称

[オプショナル (O)]

紹介先医師の所属診療科名称を記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/informationRecipient/intendedRecipient/receivedOrganization/name		0..1	**O**
–	テキスト内容	紹介先診療科名称	–	**–**

```
<intendedRecipient>
    <receivedOrganization>
        <name>内科</name>
    </receivedOrganization>
</intendedRecipient>
```

4.5.3. 紹介先医療機関名称

[オプショナル (O)]

紹介先医療機関の名称を記述する。オプション項目である、紹介先診療科名称が存在する場合と存在しない場合とで、紹介先医療機関名称の記述方法が異なる。

(1) 紹介先診療科名称が存在する場合

intendedRecipient の子要素である receivedOrganization 要素は、紹介先の診療科情報を表現する。その子要素である asOrganizationPartOf/wholeOrganization 要素で紹介先医療機関の情報を表現する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/informationRecipient/intendedRecipient/receivedOrganization/asOrgnaizationPartOf/wholeOrganization/name		0..1	**O**
–	テキスト内容	紹介先医療機関名称	–	**–**

```
<intendedRecipient>
    <receivedOrganization>
        <name>内科</name>
        <asOrganizationPartOf>
            <wholeOrganization>
                <name>中央病院</name>
            </wholeOrganization>
        </asOrganizationPartOf>
    </receivedOrganization>
</intendedRecipient>
```

(2) 紹介先診療科名称が存在しない場合

intendedRecipient の直接の子要素である receivedOrganization 要素で紹介先医療機関の情報を表現する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/informationRecipient/intendedRecipient/receivedOrganization/name		0..1	O
-	テキスト内容	紹介先医療機関名称	-	-

```
<intendedRecipient>
    <receivedOrganization>
        <name>中央病院</name>
    </receivedOrganization>
</intendedRecipient>
```

4.5.4. 例

紹介先医療機関・医師情報の XML 例を示す。

紹介先医師氏名（漢字）	山田花子
紹介先医師診療科	内科
紹介先医療機関名称	中央病院

```
<ClinicalDocument>
  ...
  <!-- 紹介先医療機関・医師情報 -->
  <informationRecipient>
    <intendedRecipient>
      <informationRecipient>
        <name use="IDE">
          <family>山田</family>
          <given>花子</given>
        </name>
      </informationRecipient>
      <receivedOrganization>
        <name>内科</name>
          <asOrganizationPartOf>
            <wholeOrganization>
              <name>中央病院</name>
            </wholeOrganization>
          </asOrganizationPartOf>
       </receivedOrganization>
    </intendedRecipient>
  </informationRecipient>
  ...
</ClinicalDocument>
```

4.6. 患者情報

[オプショナル（O)]

このセクションは、患者の医学的背景情報を記述する。以下の項目を含む。これらの項目のうち、アレルギー情報及び感染症情報以外の項目はオプショナル項目であり、記載すべき値が存在しない場合には省略することができる。これらの項目はそれぞれサブセクションとして記述する。

- 背景情報
- 職業
- 嗜好
- 家族構成
- アレルギー情報
- 感染症情報

セクションコードには JMA セクションコード"**JMA-PTINFO**"を指定する。セクションタイトルは、「**患者情報**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
E	code	「患者情報」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-PTINFO**"固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。JMA セクションコードを識別する"**0.2.440.200134.100.1**"固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが指定する場合"**患者情報**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**患者情報**」固定。	1..1	M
E	component	サブセクションへの関連。	1..*	M

4.6.1. 患者背景情報

[オプショナル（O)]

このサブセクションは、患者の医学的背景情報を記述する。以下の項目を含む。各項目はオプショナル項目であり、記述すべき情報がないものは省略することができる。これらの項目はテキスト情報として、サブセクション内の叙述ブロック(text 要素内)に記述し、かつコード化された情報としてエントリ部(entry 要素下)にも記述する。叙述ブロックの記述方法については本仕様書では規定しない。叙述ブロックについては参考情報として付録 B を参照すること。サブセクションのセクションコードには JMA セクションコード"**JMA-DEMOG**"を指定する。サブセクションのセクションタイトルには「**背景情報**」を指定する。

- 年齢
- 血液型
- 身長
- 体重

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		0..1	O
E	code	「背景情報」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	コードのニーモニック。 “**JMA-DEMOG**“固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。JMA セクションコードを識別する“**0.2.440.200134.100.1**“固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが指定する場合“**JMASectionCode**“を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが指定する場合 “**背景情報**“を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**背景情報**」固定。	1..1	M
E	text	背景情報のテキスト記述。	1..1	M
E	entry	コード化情報への関連。	1..*	M

4.6.1.1. 年齢

[オプショナル (O)]

セクション内の叙述ブロックにテキスト情報として紹介状記載時の患者の年齢を記述するだけでなく、エントリ部に整数値として記述する。このとき、observation/code 要素には、その observation が 表す観察行為の種別が「年齢」であることを示すコードを指定する。使用可能なコードには、J-MIX の ”**MD0010130**”(患者.年齢)や LOINC の”**21612-7**”(AGE REPORTED)がある。詳細は付録 A.11.1 節を参照。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/entry/observation		1..1	M
A	@classCode	観察行為を表す “**OBS**” 固定。	1..1	M
A	@moodCode	観察行為の結果を表す“**EVN**” 固定。	1..1	M
E	code	観察行為の種別を示すコードとして「年齢」を示すコードを指定する。	1..1	M
A	code/@code	「年齢」コードのニーモニック。	1..1	M
A	code/@codeSystem	「年齢」コードのコード体系の OID。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	「年齢」コードのコード体系名。	0..1	O
A	code/@displayName	「年齢」コードの表示名。	0..1	O
E	value	年齢を整数値として記述。	1..1	M
A	value/@xsi :type	測定値の型情報を示す。 整数値型を表す“**INT**” 固定。	1..1	M
A	value/@value	年齢を表す整数値。	1..1	M

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="MD0010130" codeSystem="1.2.392.200119.3.1"
    codeSystemName="J-MIX" displayName="患者.年齢" />
  <value xsi:type="INT" value="34" />
</observation>
```

4.6.1.2. 血液型

[オプショナル (O)]

セクション内の叙述ブロックにテキスト情報として血液型を記述するだけでなく、エントリ部にコード値として記述する。このとき、observation/code 要素には、その observation が 表す観察行為の種別が「血液型」であることを示すコードを指定する。使用可能なコードには、J-MIX の "**MD0015390**"(ABO 式血液型.判定)や "**MD0015410**"(RhoD 式血液型.判定)、LOINC の"**883-9**"(ABO GROUP)がある。詳細は付録 A.11.2 節を参照。血液型の値を示すコード値に関しては、現時点で利用可能な適切な標準コードがないため、以下の XML 例ではローカルコードを用いて表現する。ただし、あくまで一例であり、本コードの使用を強制するものではない。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/entry/observation		0..1	O
A	@classCode	観察行為を表す "**OBS**" 固定。	1..1	M
A	@moodCode	観察行為の結果を表す"**EVN**" 固定。	1..1	M
E	code	観察行為の種別を示すコードとして「血液型」を示すコードを指定。	1..1	M
A	code/@code	「血液型」を示すコードのニーモニック。	1..1	M
A	code/@codeSystem	「血液型」コードのコード体系の OID。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	「血液型」コードのコード体系名。	0..1	O
A	code/@displayName	「血液型」コードの表示名。	0..1	O
E	value	血液型を示すコード値。	1..1	M
A	value/@xsi :type	測定値の型情報を示す。 コード値型を表す"**CD**" 固定。	1..1	M
A	value/@code	血液型コード。	1..1	M
A	value/@codeSystem	血液型コードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	value/@codeSystemName	血液型コードのコード体系名。	0..1	O
A	value/@displayName	血液型コードの表示名。	0..1	O

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="883-9" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC" displayName="ABO GROUP" />
  <value xsi:type="CD" code="A" codeSystem="0.2.440.200134.100.98"
    displayName="Type A" />
</observation>
```

4.6.1.3. 身長

[オプショナル (O)]

セクション内の叙述ブロックにテキスト情報として患者の身長を記述するだけでなく、エントリ部に物理量値として記述する。単位は[cm]を指定する。このとき、observation/code 要素には、その observation が 表す観察行為の種別が「身長」であることを示すコードを指定する。使用可能なコードには、LOINC の"**3137-7**"(BODY HEIGHT)がある。詳細は付録 A.11.3 節を参照。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/entry/observation		1..1	M
A	@classCode	観察行為を表す “**OBS**” 固定。	1..1	M
A	@moodCode	観察行為の結果を表す“**EVN**” 固定。	1..1	M
E	code	観察行為の種別を示すコードとして「身長」を示すコードを指定する。	1..1	M
A	code/@code	「身長」コードのニーモニック。	1..1	M
A	code/@codeSystem	「身長」コードのコード体系の OID。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	「身長」コードのコード体系名。	0..1	O
A	code/@displayName	「身長」コードの表示名。	0..1	O
E	value	身長を物理量として記述。	1..1	M
A	value/@xsi :type	測定値の型情報を示す。 物理量型を表す“**PQ**” 固定。	1..1	M
A	value/@value	身長を表す実数値。	1..1	M
A	value/@unit	身長の単位コード。“**cm**” 固定。	1..1	M

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3137-7" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystem="LOINC" displayName="BODY HEIGHT" />
  <value xsi:type="PQ" value="181.0" unit="cm"/>
</observation>
```

4.6.1.4. 体重

[オプショナル (O)]

セクション内の叙述ブロックにテキスト情報として患者の体重を記述するだけでなく、エントリ部に物理量値として記述する。単位は[kg]を指定する。このとき、observation/code 要素には、その observation が 表す観察行為の種別が「身長」であることを示すコードを指定する。使用可能なコードには、LOINC の”**3141-9**”(BODY WEIGHT)がある。詳細は付録 A.11.4 節を参照。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/entry/observation		1..1	M
A	@classCode	観察行為を表す “**OBS**” 固定。	1..1	M
A	@moodCode	観察行為の結果を表す“**EVN**” 固定。	1..1	M
E	code	観察行為の種別を示すコードとして「体重」を示すコードを指定する。	1..1	M
A	code/@code	「体重」を示すコードのニーモニック。	1..1	M
A	code/@codeSystem	「体重」コードのコード体系の OID。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	「体重」コードのコード体系名。	0..1	O
A	code/@displayName	「体重」コードの表示名。	0..1	O
E	value	体重。	1..1	M
A	value/@xsi :type	測定値の型情報を示す。 物理量型を表す“**PQ**” 固定。	1..1	M
A	value/@value	体重を表す実数値。	1..1	M
A	value/@unit	体重の単位コード。“**kg**” 固定。	1..1	M

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3141-9" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystem="LOINC" displayName="BODY WEIGHT" />
  <value xsi:type="PQ" value="78.2" unit="kg"/>
</observation>
```

4.6.1.5. 例

患者情報セクションの XML 例を示す。

血液型	A 型
年齢	34 歳
身長	175 cm
体重	75 kg

```
<section>
  <code code="JMA-DEMOG" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>背景情報</title>
  <text>
    <table>
      <thead>
        <tr><th>血液型</th><th>年齢</th><th>身長</th><th>体重</th>
          <th>血液型</th></tr>
      </thead>
      <tbody>
        <tr><td>A 型</td><td>年齢 34 歳</td><td>身長 175 cm</td>
          <td>体重 75kg</td></tr>
      </tbody>
    </table>
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="883-9" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
        codeSystemName="LOINC" displayName="ABO GROUP" />
      <value xsi:type="CD" code="A" codeSystem="0.2.440.200134.100.98"
        displayName="Type A"/>
    </observation>
  </entry>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="MD0010130" codeSystem="1.2.392.200119.3.1"
        codeSystemName="J-MIX" displayName="患者.年齢" />
      <value xsi:type="INT" value="34" />
    </observation>
  </entry>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="3137-7" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
        codeSystemName="LOINC" displayName="BODY HEIGHT" />
      <value xsi:type="PQ" value="175" unit="cm" />
    </observation>
  </entry>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="3141-9" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
        codeSystemName="LOINC" displayName="BODY WEIGHT" />
      <value xsi:type="PQ" value="75" unit="kg" />
    </observation>
  </entry>
</section>
```

4.6.2. 職業

[オプショナル（O)]

このサブセクションは、患者の職業に関する事項をテキストで記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-OCUP**"を指定する。また、サブセクションのセクションタイトルには「**職業**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		0..1	O
E	code	「職業」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。 "**JMA-OCUP**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**職業**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**職業**」固定。	1..1	M
E	text	職業内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
  <code code="JMA-OCUP" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>職業</title>
  <text>
    <list>
      <item>会社員</item>
      <item>肉体労働</item>
      <item>長時間特定の姿勢</item>
    </list>
  </text>
</section>
```

4.6.3. 嗜好

[オプショナル（O)]

このサブセクションは、患者の嗜好に関する事項をテキストで記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-FAV**"を指定する。また、サブセクションのセクションタイトルには「**嗜好**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		0..1	O
E	code	「嗜好」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。“JMA-FAV” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別するOID。 “0.2.440.200134.100.1” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合“JMASectionCode”を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合“嗜好”を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「嗜好」固定。	1..1	M
E	text	嗜好内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
  <code code="JMA-FAV" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>嗜好</title>
  <text>
    <list>
      <item>飲酒:毎日ビール1本</item>
      <item>喫煙:1 日 10 本、 20 年間</item>
    </list>
  </text>
</section>
```

4.6.4. 家族構成

[オプショナル (O)]

このサブセクションは、患者の家族構成に関する事項をテキストで記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード”JMA-FAMSTR”を指定する。また、サブセクションのタイトルには「家族構成」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		0..1	O
E	code	「家族構成」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。“JMA-FAMSTR” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別するOID。 “0.2.440.200134.100.1” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合“JMASectionCode”を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合“家族構成”を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「家族構成」固定。	1..1	M
E	text	家族構成のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
  <code code="JMA-FAMSTR" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>家族構成</title>
  <text>
    <list>
      <item>祖父</item>
      <item>妻</item>
      <item>長男</item>
    </list>
  </text>
</section>
```

4.6.5. アレルギー

[必須 (M)]

患者のアレルギー、有害反応、過敏症等に関する情報を叙述ブロックにテキスト情報として記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-ALGY**"を指定する。また、サブセクションのセクションタイトルには「**アレルギー**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		1..1	M
E	code	「アレルギー」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"JMA-ALGY" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "0.2.440.200134.100.1" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"JMASectionCode"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"アレルギー"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「アレルギー」固定。	1..1	M
E	text	アレルギー内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
    <code code="JMA-ALGY" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
      codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>アレルギー</title>
    <text>
        <list>
            <item>ペニシリン</item>
        </list>
    </text>
</section>
```

4.6.6. 感染症

[必須 (M)]

このセクションは、患者の感染症に関する情報をテキストにより記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-INFCT**"を指定する。また、サブセクションのセクションタイトルには「感染症」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
E	code	「感染症」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-INFCT**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**感染症**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**感染症**」固定。	1..1	M
E	text	感染症内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
    <code code="JMA-INFCT" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>感染症</title>
    <text>
        <list>
            <item>B 型肝炎　有</item>
        </list>
    </text>
</section>
```

4.7. 紹介内容

[必須 (M)]

このセクションは、紹介状の紹介内容を記述する。セクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-RFR**"を指定する。セクションタイトルには「**紹介内容**」を指定する。サブセクションとして以下の 3 つのサブセクションを含む。これらのうち、「目的」サブセクションは必須であり必ず含まれなければならない。他の 2 つのサブセクションは、記載する事項がない場合には省略することができる。

- 目的
- 希望
- 留意点

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
E	code	「紹介内容」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-RFR**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**紹介内容**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**紹介内容**」固定。	1..1	M
E	component	サブセクションへの関連	1..3	M

4.7.1. 目的

[必須 (M)]

このサブセクションは、紹介状の紹介目的を叙述ブロックにテキストとして記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-ROR**"を指定する。またサブセクションのセクションタイトルには「**目的**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		1..1	M
E	code	「目的」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-ROR**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**目的**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**目的**」固定。	1..1	M
E	text	紹介目的のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
    <code code="JMA-ROR" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>目的</title>
    <text>一般診察依頼</text>
</section>
```

4.7.2. 希望

[オプショナル（O)]

このサブセクションは、希望情報を叙述ブロックにテキストとして記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"JMA-REQ"を指定する。またサブセクションのセクションタイトルには「希望」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		0..1	O
E	code	「希望」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"JMA-REQ" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "0.2.440.200134.100.1" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"JMASectionCode"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"希望"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「希望」固定。	1..1	M
E	text	希望内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
    <code code="JMA-REQ" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>希望</title>
    <text>貴病院での治療が終了する際にはご連絡下さい。</text>
</section>
```

4.7.3. 留意点

[オプショナル（O)]

このサブセクションは、留意点情報を叙述ブロックにテキストとして記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"JMA-ALRT"を指定する。またサブセクションのセクションタイトルには「留意点」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		0..1	O
E	code	「留意点」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。“**JMA-ALRT**” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別するOID。 “**0.2.440.200134.100.1**” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合“**JMASectionCode**”を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合“**留意点**”を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**留意点**」固定。	1..1	M
E	text	留意点内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
    <code code="JMA-ALRT" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>留意点</title>
    <text>アレルギー情報には十分ご留意下さい。</text>
</section>
```

4.7.4. 例

紹介内容セクションの XML 例を示す。

目的	一般診療依頼
希望	貴病院での治療が終了する際にはご連絡下さい。
留意点	アレルギー情報には十分ご留意下さい。

```
<section>
  <code code="JMA-RFR" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>紹介内容</title>
  <component>
    <section>
      <code code="JMA-ROR" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
      <title>目的</title>
      <text>一般診療依頼</text>
    </section>
  </component>
  <component>
    <section>
      <code code="JMA-REQ" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
      <title>希望</title>
      <text>貴病院での治療が終了する際にはご連絡下さい。</text>
    </section>
  </component>
  <component>
    <section>
      <code code="JMA-ALRT" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
      <title>留意点</title>
      <text>アレルギーには十分ご留意下さい。</text>
    </section>
  </component>
</section>
```

4.8. 既往歴

[必須 (M)]

このセクションは、患者本人が過去に治療した既往歴、及び関連する家族歴に関する情報を記述する。セクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-PASTHIST**"を指定する。セクションタイトルには「**既往歴**」を指定する。以下の 2 つのサブセクションを含む。

- 既往歴
- 家族歴

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
E	code	「既往歴」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-PASTHIST**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**既往歴**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**既往歴**」固定。	1..1	M
E	component	サブセクションへの関連。	1..2	M

4.8.1. 既往歴

[必須 (M)]

このサブセクションは、既往歴情報を叙述ブロックにテキストとして記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-PASTHIST**"を指定する。またサブセクションのセクションタイトルには「**既往歴**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		1..1	M
E	code	「既往歴」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-PASTHIST**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**既往歴**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**既往歴**」固定。	1..1	M
E	text	既往歴内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
    <code code="JMA-PASTHIST" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>既往歴</title>
    <text>
        <list>
            <item>12 歳　喘息</item>
            <item>28 歳　アレルギー性結膜炎</item>
            <item>42 歳　高血圧症</item>
        </list>
    </text>
</section>
```

4.8.2. 家族歴

[必須 (M)]

このサブセクションは、家族歴に関する情報を叙述ブロックにテキストとして記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-FAMHIST**"を指定する。またサブセクションのセクションタイトルには「**家族歴**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		1..1	M
E	code	「家族歴」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-FAMHIST**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**家族歴**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**家族歴**」固定。	1..1	M
E	text	家族歴内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
    <code code="JMA-FAMHIST" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>家族歴</title>
    <text>
        <list>
            <item>母方の祖父　糖尿病</item>
            <item>父方の祖父　肺がん</item>
        </list>
    </text>
</section>
```

4.8.3. 例

既往歴セクションの XML 例を示す。

既往歴	12 歳　喘息
	28 歳　アレルギー性結膜炎
	42 歳　高血圧症
家族歴	母方の祖父　糖尿病
	父方の祖父　肺がん

```
<section>
    <code code="JMA-PASTHIST" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>既往歴</title>
    <component>
        <section>
            <code code="JMA-PASTHIST" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
                codeSystemName="JMASectionCode" />
            <title>既往歴</title>
            <text>
                <list>
                    <item>12 歳　喘息</item>
                    <item>28 歳　アレルギー性結膜炎</item>
                    <item>42 歳　高血圧症</item>
                </list>
            </text>
        </section>
    </component>
    <component>
        <section>
            <code code=" JMA-FAMHIST " codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
                codeSystemName="JMASectionCode" />
            <title>家族歴</title>
            <text>
                <list>
                    <item>母方の祖父　糖尿病</item>
                    <item>父方の祖父　肺がん</item>
                </list>
            </text>
        </section>
    </component>
</section>
```

4.9. 現症

[必須 (M)]

このセクションは、患者の現症を記述する。セクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-PREILL**"を指定する。セクションタイトルには「**現症**」を指定する。以下の項目に対応するサブセクションを含む。これらのサブセクションのうち、バイタルサイン以外のサブセクションは必須であり、必ず出現しなければならない。バイタルサインはオプショナル項目であり、記載すべき事項がない場合には省略することができる。

- 主訴
- 病名
- バイタルサイン
- 診断内容
- 現病歴
- 症状経過

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
E	code	「現症」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-PREILL**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別するOID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**現症**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**現症**」固定。	1..1	M
E	component	サブセクションへの関連。	1..*	M

4.9.1. 主訴

[必須 (M)]

このサブセクションは、患者の主訴を叙述ブロックにテキスト情報として記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-CHCOMP**"を指定する。またサブセクションのセクションタイトルには「**主訴**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		1..1	M
E	code	「主訴」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-CHCOMP**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別するOID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**主訴**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**主訴**」固定。	1..1	M
E	text	主訴内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
    <code code="JMA-CHCOMP" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>主訴</title>
    <text>足が痛い(右大腿外側部の痛み)</text>
</section>
```

4.9.2. 病名

[必須 (M)]

このサブセクションは、病名を叙述ブロックにテキスト情報として記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-DISNM**"を指定する。またサブセクションのセクションタイトルには「**病名**」を指定する。さらに、病名をコード化できる場合にはエントリ部に observation 要素として記述してもよい。使用可能な病名コードとして、ICD-10 コードや MEDIS 標準病名マスタがある。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		1..1	M
E	code	「病名」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-DISNM**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**病名**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**病名**」固定。	1..1	M
E	text	病名内容のテキスト記述。	1..1	M
E	entry	コード化された病名情報への関連。	0..*	O
E	entry/observation	コード化された病名情報。	1..1	M
A	entry/observation/@classCode	観察行為を表す "**OBS**" 固定	1..1	M
A	entry/observation/@moodCode	観察行為の結果を表す"**EVN**" 固定。	1..1	M
E	entry/observation/code	病名コード。	1..1	M
A	entry/observation/code/@code	病名コードのニーモニック。	1..1	M
A	entry/observation/code/@codeSystem	病名コードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	entry/observation/code/@codeSystemName	病名コードのコード体系名。	0..1	O
A	entry/observation/code/@displayName	病名コードの表示名。	0..1	O

```
<section>
    <code code="JMA-DISNM" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>病名</title>
    <text>腰部脊柱管狭窄症</text>
    <entry>
        <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="M4806" codeSystem="2.16.840.113883.6.3"
                codeSystemName="ICD10" />
        </observation>
    </entry>
</section>
```

4.9.3. バイタルサイン

[オプショナル（O)]

このサブセクションは、患者のバイタルサインについて記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"JMA-VS"を指定する。またサブセクションのセクションタイトルとして「**バイタルサイン**」を指定する。バイタルサインとして以下の項目を記述するが、各項目はオプショナルであり、値が存在しない場合には省略可能である。

- 最高血圧（mmhg）
- 最低血圧（mmhg）
- 体温（℃）
- 脈拍数（bpm）
- 不整脈有無

これらの項目は、セクションの叙述ブロックにテキストとして記述するだけでなく、機械可読な情報としてエントリ部にも記述することができる。ひとつのサブセクションの中に複数の測定日のバイタルサインデータを記述することも可能である。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		0..1	O
E	code	「バイタルサイン」セクションコード	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"JMA-VS" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別するOID。 "0.2.440.200134.100.1" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"JMASectionCode"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**バイタルサイン**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**バイタルサイン**」固定。	1..1	M
E	text	バイタルサインのテキスト記述。	1..1	M
E	entry	このセクションのエントリ部への関連。	0..*	O

4.9.3.1. 最高・最低血圧

[オプショナル（O)]

最高血圧と最低血圧をテキスト情報として叙述ブロックに記述する。単位は[mmHg]とする。可能であれば機械可読な値として、最高血圧と最低血圧を示す observation 要素とそれらをグルーピングする親要素の observation をエントリ部内に記述する。このとき、observation/code 要素には、その observation が表す観察行為の種別が「血圧」、「最高血圧」、「最低血圧」であることを示すコードをそれぞれ指定する。使用可能なコードとして、例えば LOINC の "**18684-1**"(BLOOD PRESSURE)、"**8480-6**"(INTRAVASCULAR SYSTOLIC)、"**8462-4**"(INTRAVASCULAR DIASOLIC)がある。詳細は付録 A.11.5 節を参照。observation/effectiveTime 要素で示される測定日時は YYYYMMDDHHMMSS 形式で表現されるが、精度以下の桁は省略可能である。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/entry/observation		0..1	O
A	@classCode	観察行為を表す "**OBS**" 固定。	1..1	M
A	@moodCode	観察行為の結果を表す"**EVN**" 固定。	1..1	M
E	code	観察行為の種別を示すコードとして「血圧」を示すコードを指定する。	1..1	M
A	code/@code	「血圧」を示すコードのニーモニック。	1..1	M
A	code/@codeSystem	「血圧」コードのコード体系の OID。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	「血圧」コードのコード体系名。	0..1	O
A	code/@displayName	「血圧」コードの表示名。	0..1	O
E	effectiveTime	血圧値の測定日時。	0..1	O
A	effectiveTime/@value	血圧値の測定日時。形式は、YYYYMMDDHHMMSS。精度以下は省略可能。	1..1	M
E	entryRelationship	最高・最低血圧値への関連。	1..2	M
A	entryRelationship/@typeCode	包含関係を表す"**COMP**"固定。	1..1	M
E	entryRelationship/observation	最高/最低血圧の観察行為を表す。	1..1	M
A	entryRelationship/observation/@classCode	観察行為を表す "**OBS**" 固定。	1..1	M
A	entryRelationship/observation/@moodCode	観察行為の結果を表す"**EVN**" 固定。	1..1	M
E	entryRelationship/observation/code	観察行為の種別を示すコードとして「最高血圧」/「最低血圧」を示すコード。	1..1	M
A	entryRelationship/observation/code/@code	「最高血圧」/「最低血圧」を示すコードのニーモニック	1..1	M
A	entryRelationship/observation/code/@codeSystem	「最高血圧」/「最低血圧」コードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	entryRelationship/observation/code/@codeSystemName	「最高血圧」/「最低血圧」コードのコード体系名。	0..1	O
A	entryRelationship/observation/code/@displayName	「最高血圧」/「最低血圧」コードの表示名。	0..1	O
E	entryRelationship/observation/effectiveTime	血圧値の測定日時。	0..1	O
A	entryRelationship/observation/effectiveTime/@value	血圧値の測定日時。形式は、YYYYMMDDHHMMSS。精度以下は省略可能。	1..1	M
E	entryRelationship/observation/value	最高または最低血圧値。	1..1	M
A	entryRelationship/observation/value/@xsi :type	測定値の型情報を示す。 物理量型を表す"**PQ**" 固定。	1..1	M
A	entryRelationship/observation/value/@value	「最高血圧値」/「最低血圧値」を表す実数値。	1..1	M
A	entryRelationship/observation/value/@unit	血圧値の単位。"**mm[Hg]**" 固定。	1..1	M

```
<section>
  <code code="JMA-VS" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>バイタルサイン</title>
  <text>
    <list>
      <item>測定日　平成 18 年 4 月 1 日</item>
       <item>最高血圧　132 mmHg</item>
       <item>最低血圧　86 mmHg</item>
    </list>
  </text>
  <entry>
  <!-- 血圧 -->
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="18684-1" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
        codeSystemName="LOINC" displayName="BLOOD PRESSURE" />
      <effectiveTime value="20060401" />
      <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 最高血圧 -->
        <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
          <code code="8480-6" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
            codeSystemName="LOINC" displayName="INTRAVASCULAR SYSTOLIC" />
          <effectiveTime value="20060401" />
          <value xsi:type="PQ" value="132" unit="mm[Hg]" />
        </observation>
      </entryRelationship>
      <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 最低血圧 -->
        <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
          <code code="8462-4" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
            codeSystem="LOINC" displayName="INTRAVASCULAR DIASTOLIC" />
          <effectiveTime value="20060401" />
          <value xsi:type="PQ" value="86" unit="mm[Hg]" />
        </observation>
      </entryRelationship>
    </observation>
  </entry>
</section>
```

4.9.3.2. 体温

[オプショナル (O)]

体温をテキスト情報として叙述ブロックに記述する。単位は[℃]とする。可能であれば機械可読な値として、エントリ部内の observation 要素に記述する。このとき、observation/code 要素には、その observation が 表す観察行為の種別が「体温」であることを示すコードをそれぞれ指定する。使用可能なコードとして、例えば LOINC の"8310-5"(BODY TEMPERATURE)がある。詳細は付録 A.11.6 節を参照。observation/effectiveTime 要素で示される測定日時は YYYYMMDDHHMMSS 形式で表現されるが、精度以下の桁は省略可能である。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/entry/observation		0..1	O
A	@classCode	観察行為を表す "OBS" 固定。	1..1	M
A	@moodCode	観察行為の結果を表す"EVN" 固定。	1..1	M
E	code	観察行為の種別を示すコードとして「体温」を示すコードを指定する。	1..1	M
A	code/@code	「体温」を示すコードのニーモニック。	1..1	M
A	code/@codeSystem	「体温」コードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	「体温」コードのコード体系名。	0..1	O
A	code/@displayName	「体温」コードの表示名。	0..1	O
E	effectiveTime	体温の測定日時。	0..1	O
A	effectiveTime/@value	体温の測定日時。形式は、YYYYMMDDHHMMSS。精度以下の桁は省略可能。	1..1	M
E	value	体温の測定値。	1..1	M
A	value/@xsi :type	測定値の型情報を示す。 物理量型を表す"PQ" 固定。	1..1	M
A	value/@value	体温の実数値。	1..1	M
A	value/@unit	測定値の単位。"Cel" 固定。	1..1	M

```
<section>
  <code code="JMA-VS" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
     codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>バイタルサイン</title>
  <text>
    <list>
      <item>測定日　平成 18 年 4 月 1 日</item>
      <item>体温　36.8℃</item>
    </list>
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="8310-5" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
        codeSystemName="LOINC" displayName="BODY TEMPERATURE" />
      <effectiveTime value="20060401" />
      <value xsi:type="PQ" value="36.8" unit="Cel" />
    </observation>
  </entry>
</section>
```

4.9.3.3. 脈拍数

[オプショナル（O)]

脈拍数をテキスト情報として叙述ブロックに記述する。単位は[bpm]とする。可能であれば機械可読な値として、エントリ部内の observation 要素に記述する。このとき、測定値は 1 分間を分母とし脈拍数を分子とする比率型で記述する。また、observation/code 要素には、その observation が 表す観察行為の種別が「脈拍数」であることを示すコードをそれぞれ指定する。使用可能なコードとして、例えば LOINC の”**11328-2**”(HEART BEAT)がある。詳細は付録 A.11.7 節を参照。observation/effectiveTime 要素で示される測定日時は YYYYMMDDHHMMSS 形式で表現されるが、精度以下の桁は省略可能である。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/entry/observation		0..1	O
A	@classCode	観察行為を表す “**OBS**” 固定。	1..1	M
A	@moodCode	観察行為の結果を表す“**EVN**” 固定。	1..1	M
E	code	観察行為の種別を示すコードとして「脈拍数」を示すコードを指定する。	1..1	M
A	code/@code	「脈拍数」を示すコードのニーモニック。	1..1	M
A	code/@codeSystem	「脈拍数」コードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	「脈拍数」コードのコード体系名。	0..1	O
A	code/@displayName	「脈拍数」コードの表示名。	0..1	O
E	effectiveTime	脈拍数の測定日時。	0..1	O
A	effectiveTime/@value	脈拍数の測定日時。形式は、YYYYMMDDHHMMSS。精度以下の桁は省略可能。	1..1	M
E	value	脈拍数の測定値。	1..1	M
A	value/@xsi :type	測定値の型情報を示す。 物理量の比率型を表す“**RTO_PQ_PQ**” 固定。	1..1	M
E	value/numerator	測定値の分子として脈拍数を表す。	1..1	M
A	value/numerator/@value	脈拍数の実数値。	1..1	M
E	value/denominator	測定値の分母となる「1 分」という時間間隔を表す。	1..1	M
A	value/denominator/@value	1 分という値を表す“**1**” 固定。	1..1	M
A	value/denominator/@unit	「分」という単位を表す “**min**” 固定。	1..1	M

```
<section>
  <code code="JMA-VS" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>バイタルサイン</title>
  <text>
    <list>
      <item>測定日　平成 18 年 4 月 1 日</item>
      <item>脈拍　86 bpm</item>
    </list>
  </text>
  <entry>
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="11328-2" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
        codeSystemName="LOINC" displayName="HEART BEAT" />
      <effectiveTime value="20060401" />
      <value xsi:type="RTO_PQ_PQ">
        <numerator value="86" />
        <denominator value="1" unit="min" />
      </value>
    </observation>
  </entry>
</section>
```

4.9.3.4. 不整脈有無

[オプショナル（O)]

不整脈の有無をテキスト情報として叙述ブロックに記述する。可能であれば機械可読なコード値として、エントリ部内の observation 要素に記述する。このとき、observation/code 要素には、その observation が 表す観察行為の種別が「不整脈有無」であることを示すコードをそれぞれ指定する。使用可能なコードとして、例えば LOINC の”**8884-9**”(RHYTHM)がある。一方、不整脈の有無の値を示すコード値に関しては、現時点で利用可能な適切な標準コードがないため、以下の XML 例ではローカルコードを用いて表現する。ただし、あくまで一例であり、本コードの使用を強制するものではない。observation/effectiveTime 要素で示される測定日時は YYYYMMDDHHMMSS 形式で表現されるが、精度以下の桁数は省略可能である。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/entry/observation		0..1	O
A	classCode	観察行為を表す “**OBS**” 固定。	1..1	M
A	moodCode	観察行為の結果を表す“**EVN**” 固定。	1..1	M
E	code	観察行為の種別を示すコードとして「心拍」を示すコードを指定する。	1..1	M
A	code/@code	「心拍」を示すコードのニーモニック。	1..1	M
A	code/@codeSystem	「心拍」コードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	「心拍」コードのコード体系名。	0..1	O
A	code/@displayName	「心拍」コードの表示名。	0..1	O
E	effectiveTime	心拍の測定日時。	0..1	O
A	effectiveTime/@value	心拍の測定日時。形式は、YYYYMMDDHHMMSS。精度以下の桁は省略可能。	1..1	M
E	value	不整脈の有無。	1..1	M
A	value/@xsi :type	測定値の型情報を示す。 コード値型を表す“**CD**” 固定。	1..1	M
A	value/@code	不整脈の有無として心拍が正常か異常かを示すコード。	1..1	M
A	value/@codeSystem	不整脈の有無を示すコードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	value/@codeSystemName	不整脈の有無を示すコードのコード体系名。	0..1	O
A	value/@displayName	不整脈の有無を示すコードの表示名。	0..1	O

```
<section>
  <code code="JMA-VS" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>バイタルサイン</title>
  <text>
    <list>
      <item>測定日　平成 18 年 4 月 1 日</item>
      <item>不整脈有無　無し</item>
    </list>
  </text>
  <entry>
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="8884-9" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
          codeSystemName="LOINC" displayName="RHYTHM" />
        <effectiveTime value="20060401" />
        <value xsi:type="CD" code="RE" codeSystem="0.2.440.200134.100.99"
          displayName="Regular"/>
        </observation>
      </entry>
</section>
```

4.9.4.　診断内容

[必須 (M)]

　このサブセクションは、診断内容を叙述ブロックにテキスト情報として記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード”**JMA-DX**”を指定する。また、サブセクションのセクションタイトルには「**診断内容**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		1..1	M
E	code	「診断内容」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。“**JMA-DX**” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 “**0.2.440.200134.100.1**” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合“**JMASectionCode**”を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合“**診断内容**”を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**診断内容**」固定。	1..1	M
E	text	診断内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
  <code code="JMA-DX" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>診断内容</title>
  <text>腰部脊柱管狭窄症。</text>
</section>
```

4.9.5. 現病歴

[必須 (M)]

このサブセクションは、患者の現病歴を叙述ブロックにテキスト情報として記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-PILHIST**"を指定する。また、サブセクションのセクションタイトルには「**現病歴**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		1..1	M
E	code	「現病歴」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-PILHIST**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**現病歴**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**現病歴**」固定。	1..1	M
E	text	現病歴内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
  <code code="JMA-PILHIST" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>現病歴</title>
  <text>午前 0 時頃突然右大腿外側部の痛みが出現し、30 分後に救急車にて来院。</text>
</section>
```

4.9.6. 症状経過

[必須 (M)]

このサブセクションは、症状経過を叙述ブロックにテキスト情報として記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-COSYMP**"を指定する。セクションタイトルには「**症状経過**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		1..1	M
E	code	「症状経過」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-COSYMP**"固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**症状経過**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**症状経過**」固定。	1..1	M
E	text	症状経過内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
  <code code="JMA-COSYMP" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>症状経過</title>
  <text>本院入院後 1 週間、右大腿外側部の痛みが続く。</text>
</section>
```

4.9.7. 例

現症セクションの XML 例を示す。

主訴	足が痛い（右大腿外側部の痛み）
病名	腰部脊柱管狭窄症
バイタルサイン	
計測日	2006 年 4 月 1 日
最高血圧	132 mmHg
最低血圧	86 mmHg
体温	36.8 ℃
脈拍数	86 bpm
不整脈の有無	無し
診断内容	腰部脊柱管狭窄症。
現病歴	午前 0 時頃突然右大腿外側部の痛みが出現し、30 分後に救急車にて来院。
症状経過	本院入院後 1 週間、右大腿外側部の痛みが続く。

```
<section>
    <code code="JMA-PREILL" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>現症</title>
    <component>
        <section>
            <code code="JMA-CHCOMP" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
                codeSystemName="JMASectionCode" />
            <title>主訴</title>
            <text>足が痛い（右大腿外側部の痛み）</text>
        </section>
    </component>
    <component>
        <section>
            <code code="JMA-DISNM" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
                codeSystem="JMASectionCode" />
            <title>病名</title>
            <text>腰部脊柱管狭窄症</text>
            <entry>
                <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
                    <code code="M4806" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.3"
                        codeSystem="ICD10" />
                </observation>
            </entry>
        </section>
    </component>
```

```
<component>
  <section>
    <code code="JMA-VS" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
      codeSystem="JMASectionCode" />
    <title>バイタルサイン</title>
    <text>
      <list>
        <item>測定日　平成 18 年 4 月 1 日</item>
        <item>最高血圧　132 mmHg</item>
        <item>最低血圧　86 mmHg</item>
        <item>体温　36.8 ℃</item>
        <item>脈拍数　86 bpm</item>
        <item>不整脈　無し</item>
      </list>
    </text>
    <entry>
      <!-- 血圧 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="18684-1" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
          codeSystemName="LOINC" displayName="BLOOD PRESSURE" />
        <effectiveTime value="20060401" />
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 最高血圧 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="8480-6" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
              codeSystemName="LOINC" displayName="INTRAVASCULAR SYSTOLIC" />
            <effectiveTime value="20060401" />
            <value xsi:type="PQ" value="132" unit="mm[Hg]" />
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 最低血圧 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="8462-4" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
              codeSystemName="LOINC"
              displayName="INTRAVASCULAR DIASTOLIC" />
            <effectiveTime value="20060401" />
            <value xsi:type="PQ" value="86" unit="mm[Hg]" />
          </observation>
        </entryRelationship>
      </observation>
    </entry>
```

```
    <entry>
      <!-- 体温 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="8310-5" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
          codeSystemName="LOINC" displayName="BODY TEMPERATURE" />
        <effectiveTime value="20060401" />
        <value xsi:type="PQ" value="36.8" unit="Cel" />
      </observation>
    </entry>
    <entry>
      <!-- 脈拍数 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="11328-2" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
          codeSystemName="LOINC" displayName="HEART BEAT" />
        <effectiveTime value="20060401" />
        <value xsi:type="RTO_PQ_PQ">
          <numerator value="86" />
          <denominator value="1" unit="min" />
        </value>
      </observation>
    </entry>
    <entry>
      <!-- 不整脈有無 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="8884-9" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
          codeSystem="LOINC" displayName="RHYTHM" />
        <effectiveTime value="20060401" />
        <value xsi:type="CD" code="RE"
          codeSystem="0.2.440.200134.100.99" displayName="Regular"/>
      </observation>
    </entry>
  </section>
</component>
<component>
  <section>
    <code code="JMA-DX" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
      codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>診断内容</title>
    <text>腰部脊柱管狭窄症。</text>
  </section>
</component>
```

```
  <component>
    <section>
      <code code="JMA-PILHIST" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
      <title>現病歴</title>
      <text>午前 0 時頃突然右大腿外側部の痛みが出現し、30 分後に救急車にて来院。</text>
    </section>
  </component>
  <component>
    <section>
      <code code="JMA-COSYMP" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
      <title>症状経過</title>
      <text>本院入院後 1 週間、右大腿外側部の痛みが続く。</text>
    </section>
  </component>
</section>
```

4.10. 検査結果

[オプショナル（O)]

このセクションは、検査内容、及び所見について記述する。セクションコードには、JMA セクションコード"**JMA-LAB**"を指定する。セクションタイトルには「**検査結果**」を指定する。検査内容・所見の詳細は、叙述ブロックにテキスト情報として記述する。可能であればJLAC10やLOINCなどの標準コードを用いてエントリー部に機械可読なコード値として記述することができる。さらに、外部参照としてHL7 V2.x形式あるいはHL7 V3形式などの標準的な規格によって記述された電子的な検査データを参照することも可能である。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
E	code	「検査結果」セクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-LAB**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別するOID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	M
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**検査結果**"を指定。	0..1	M
E	title	セクションタイトル。「**検査結果**」固定。	1..1	M
E	text	検査内容のテキスト記述。	1..1	M
E	entry	コード化された検査結果情報への関連。	0..*	O
E	entry/observation	コード化された検査結果情報。	1..1	M
A	entry/observation/@classCode	観察行為を表す "**OBS**" 固定	1..1	M
A	entry/observation/@moodCode	観察行為の結果を表す"**EVN**" 固定。	1..1	M
E	entry/observation/code	検査種別コード。	1..1	M
A	entry/observation/code/@code	検査種別コードのニーモニック。	1..1	M
A	entry/observation/code/@codeSystem	検査種別コードのコード体系を識別するOID。	1..1	M
A	entry/observation/code/@codeSystemName	検査種別コードのコード体系名。	0..1	O
A	entry/observation/code/@displayName	検査種別コードの表示名。	0..1	O
E	entry/observation/effectiveTime	検査実施日時。	0..1	O
A	entry/observation/effectiveTime/@value	検査実施日時。形式は、YYYYMMDDHHMMSS。精度以下の桁は省略可能。	1..1	M
E	entry/observation/value	検査結果。詳細は4.10.1節に記載。	0..1	O
E	entry/observation/reference	外部参照される検査情報。詳細は4.10.2節に記載。	0..1	O

4.10.1. 検査結果の記述方法

機械可読な値としての検査結果は、エントリ部内の observation/value 要素に記述する。値は検査項目によってコード型、数値型、物理量型、テキスト型といった、それぞれ適切な型で記述される。以下代表的な型について、そのXMLタグ仕様を示す。

(1) コード型

コード値として表現される検査値を記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/value		0..1	O
A	@xsi:type	検査値の種別を表す。“CD”固定。	1..1	M
A	@code	コード型の検査値のニーモニック。	1..1	M
A	@codeSystem	コード型の検査値のコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	@codeSystemName	コード型の検査値のコード体系名	0..1	O
A	@displayName	コード型の検査値の表示名。	0..1	O

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="5778-6" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC" displayName="URINE COLOR" />
  <value xsi:type="CD" code="STRW" codeSystem="0.2.440.200134.100.97"
    displayName="STRAW"/>
</observation>
```

(2) 数値型(整数、実数)

整数値または実数値として表現される検査値を記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/value		0..1	O
A	@xsi:type	検査値の種別を表す。“INT”(整数値)または“REAL”(実数値)。	1..1	M
A	@value	整数または実数値の検査値。	1..1	M

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="5811-5" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC" displayName="URINE SPECIFIC GRAVITY" />
  <value xsi:type="REAL" value="1.014" />
</observation>
```

(3) 物理量型

物理量値として表現される検査値を記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/value		0..1	O
A	@xsi:type	検査値の種別を表す。物理量型を示す“PQ”。	1..1	M
A	@value	整数または実数値の検査値。	1..1	M
A	@unit	単位コード。詳細は付録 A.9 参照。	0..1	O

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="718-7" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC" displayName="HEMOGLOBIN" />
  <value xsi:type="PQ" value="12.5" unit="g/dL" />
</observation>
```

(4) テキスト型

文字列として表現される検査値を記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/value		0..1	O
A	@xsi:type	検査値の種別を表す。文字列型を示す“ST”。	1..1	M
A	@value	文字列として表現される検査値。	1..1	M

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="28925-6" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC" displayName="COLOR" />
  <value xsi:type="ST" value="Amber" />
</observation>
```

(5) 物理量区間値

物理量の区間値として表現される検査値を記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/value		0..1	O
A	@xsi:type	検査値の種別を表す。物理量区間値型を示す“IVL_PQ”。	1..1	M
E	low	物理量区間値で表現される検査値の下限値。	0..1	O
A	low/@value	物理量区間値で表現される検査値の下限値の実数値。	1..1	M
A	low/@unit	物理量区間値で表現される検査値の下限値の単位。詳細は付録 A.9 参照。	1..1	M
A	low/@inclusive	下限値が区間に含まれるかどうかを示すフラグ。	0..1	O
E	high	物理量区間値で表現される検査値の上限値。	0..1	O
A	high/@value	物理量区間値で表現される検査値の上限値の実数値。	1..1	M
A	high/@unit	物理量区間値で表現される検査値の上限値の単位。詳細は付録 A.9 参照。	1..1	M
A	high/@inclusive	上限値が区間に含まれるかどうかを示すフラグ。	0..1	O

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  ...
  <value xsi:type="IVL_PQ">
    <low value="10.3" unit="mg" inclusive="true" />
    <high value="12.3" unit="mg" inclusive="false" />
  </value>
</observation>
```

(6) 物理量の比率

毎分何 mg のように、物理量の比率として表現される検査値を記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/value		0..1	O
A	@xsi:type	検査値の種別を表す。物理量の比率型を示す“RTO_PQ_PQ”。	1..1	M
E	numerator	物理量の比で表現される検査値の分子。	0..1	O
A	numerator/@value	物理量の比で表現される検査値の分子の実数値。	1..1	M
A	numerator/@unit	物理量の比で表現される検査値の分子の単位。詳細は付録 A.9 参照。	0..1	O
E	denominator	物理量の比で表現される検査値の分母。	0..1	O
A	denominator/@value	物理量の比で表現される検査値の分母の実数値。	1..1	M
A	denominator/@unit	物理量の比で表現される検査値の分母の単位。詳細は付録 A.9 参照。	0..1	O

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="11328-2" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.1"
    codeSystemName="LOINC" displayName="HEART BEAT" />
  <value xsi:type="RTO_PQ_PQ">
    <numerator value="82" />
    <denominator value="1" unit="min" />
  </value>
</observation>
```

4.10.2. 外部参照ファイルの記述方法

紹介状本文ではなく、外部に記述された検査結果への参照を記述することができる。外部オブジェクトへのリンクは、externalObservation/text/reference 要素の value 属性に URI(Unified Resource Indicator)で記述する。

参照可能なオブジェクトは、HL7V2.X もしくは V3 形式で記述された検査結果、もしくはその他の XML 等で記述されたデータである。また上記規格で記述できないものは PDF も可能とする。これらは、externalObservation/text 要素の mediaType 属性に指定されるコードでその種別を指定する（付録 A.3 参照）。

要素(E)/属性(A)	Xpath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/reference		0..1	O
A	@typeCode	参照関係を表す “**REFR**”固定。	1..1	M
E	externalObservation	外部参照される検査情報。	1..1	M
E	externalObservation/id	外部参照される検査情報の識別子。	0..1	O
A	externalObservation/id/@root	外部参照される検査情報の識別子の OID または UUID。	1..1	M
A	externalObservation/id/@extension	外部参照される検査情報の識別子が OID の場合、識別子文字列。	0..1	O
E	externalObservation/code	外部参照される検査情報の種別を示すコード。	0..1	O
A	externalObservation/code/@code	外部参照される検査情報の種別を示すコードのニーモニック。	0..1	O
A	externalObservation/code/@codeSystem	外部参照される検査情報の種別を示すコードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	externalObservation/code/@codeSystemName	外部参照される検査情報の種別を示すコードのコード体系名。	1..1	M
A	externalObservation/code/@displayName	外部参照される検査情報の種別を示すコードの表示名。	0..1	O
E	externalObservation/text	外部参照オブジェクトへの参照。	0..1	O
A	externalObservation/text/@mediaType	外部参照オブジェクトの種別を示すメディアタイプ。詳細は付録 A.3 を参照。	1..1	M
E	externalObservation/text/reference	外部参照オブジェクト。	1..1	M
A	externalObservation/text/reference/@value	外部参照オブジェクトを指定する URI。	1..1	M

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="I219" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.3"
    codeSystemName="ICD10" displayName="急性心筋梗塞" />
  <reference typeCode="REFR">
    <externalObservation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <id root="3F2504E0-4F89-11D3-9A0C-0305E82C3301" />
      <code code="9A100" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.2.2.6.3.3"
        codeSystemName="JC10" displayName="心電図検査" />
      <text mediaType="application/mfer">
        <reference value="0153_130_20030801_093503.mwf" />
      </text>
    </externalObservation>
  </reference>
</observation>
```

4.11. 現在の処方（現投与）

[必須 (M)]

患者の処方情報を記述する。セクションコードには JMA セクションコード”**JMA-CURMED**”を指定する。セクションタイトルには「**現処方**」を指定する。次の 2 つのサブセクションから構成される。

- 薬剤
- 注射

どちらのセクションも必須項目であり、もし記載する情報がない場合には、4.11.1.4 節に示すように投与が無いという事実を明示的に示さなければならない。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
E	code	「処方」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。“**JMA-CURMED**” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 “**0.2.440.200134.100.1**” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合“**JMASectionCode**”を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合“**現処方**”を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**現処方**」固定。	1..1	M
E	component	「薬剤」、「注射」に対応するサブセクションへの関連。	1..2	M

4.11.1. 薬剤

[必須 (M)]

患者の処方(薬剤)に関する情報を記述する。叙述ブロックにテキスト情報として記述するだけでなく、エントリ部にsubstanceAdministration 要素を使用してコード化された情報としても記述することができる。薬剤投与がない場合には、4.11.1.4 節に示すように明示的に投与無しという情報を記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード"JMA-MED"を指定する。また、サブセクションのセクションタイトルには「**薬剤**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section		1..1	O
E	code	「薬剤」を表すサブセクションコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。"**JMA-MED**"固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別するOID。 "**0.2.440.200134.100.1**" 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合"**JMASectionCode**"を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合"**薬剤**"を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**薬剤**」固定。	1..1	M
E	text	薬剤内容を表すテキスト。	1..1	M
E	entry	コード化された処方情報への関連。	0..1	O
E	entry/organizer	処方情報をグループ化する Organizer。	1..1	M
A	entry/organizer/@classCode	"**CLUSTER**"固定。	1..1	M
A	entry/organizer/@moodCode	"**EVN**"固定。	1..1	M
E	entry/organizer/component	各 RP に対応する Organizer への関連。	1..*	M
E	entry/organizer/component/sequenceNumber	RP 番号。	1..1	M
A	entry/organizer/component/sequenceNumber/@value	RP 番号の整数値。	1..1	M
E	entry/organizer/component/organizer	処方内容の RP に対応する Organizer。	1..1	M
A	entry/organizer/component/organizer/@classCode	"**CLUSTER**"固定。	1..1	M
A	entry/organizer/component/organizer/@moodCode	"**EVN**"固定。	1..1	M
E	entry/organizer/component/organizer/component	各処方内容に対応する SubstanceAdministration への関連。	1..*	M
E	entry/organizer/component/organizer/component/substanceAdministration	各処方内容に対応する SubstanceAdministration。詳細は、4.11.1.1 節に示す。	1..1	M

4.11.1.1. コード化された薬剤情報の記述

コード化された薬剤情報は substanceAdministration 要素を使用し、以下のように記述する。このとき、doesQuantity 要素で記述される投与量は 1 回の投与量であり、1 日量ではないことに注意する。また、routeCode 要素や rateQuantity 要素を使用することにより、投薬経路や投薬速度を表現することもできる。これらは、主に 4.11.2 節で述べる注射情報の記述で必要となる。consumable/manufacturedProduct/manufacturedLabeledDrug/code 要素で記述する薬剤コードに関して、使用可能な標準コードとしては、MEDIS-DC の標準医薬品マスター(HOT コード)やレセプト電算処理システムがある。ただし、これらのコード体系を識別する OID が現時点で割り当てられていないため、本規格書の XML 例の中では、例としてローカルコードを用いた。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/entry/organizer/component/organizer/component/substanceAdministration		1..*	M
A	@classCode	“SBADM”固定。	1..1	M
A	@moodCode	“EVN”固定。	1..1	M
A	@negationInd	薬剤投与なしの場合に“true”を指定。	0..1	O
E	text	テキストによる処方情報。	1..1	M
E	effectiveTime	投与開始・終了日	1..1	M
A	effectiveTime/@xsi :type	“IVL_TS”固定。	1..1	M
E	effectiveTime/low	投与開始日。	1..1	M
A	effectiveTime/low/@value	投与開始日。YYYYMMDD。	1..1	M
E	effectiveTime/high	投与終了日。	1..1	M
A	effectiveTime/high/@value	投与終了日。YYYYMMDD。	1..1	M
E	effectiveTime	投与頻度。詳細は 4.11.1.2 節に示す。	0..*	O
E	routeCode	処方経路。詳細は付録 A.5.を参照。	0..1	O
A	routeCode/@code	処方経路コードのニーモニック。	1..1	M
A	routeCode/@codeSystem	処方経路コードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	routeCode/@codeSystemName	処方経路コードのコード体系名。	0..1	O
A	routeCode/@displayName	処方経路コードの表示名。	0..1	O
E	doseQuantity	1 回の投与量。	0..1	O
E	doseQuantity/center	1 回の投与量。	1..1	M
A	doseQuantity/center/@value	1 回の投与量。実数値。	1..1	M
A	doseQuantity/center/@unit	投与量単位。詳細は付録 A.9 を参照。	0..1	O
E	rateQuantity	投薬速度。	0..1	O
E	rateQuantity/center	投薬速度。	1..1	M
A	rateQuantity/center/@value	投薬速度。実数値。	1..1	M
A	rateQuantity/center/@unit	投薬速度の単位。詳細は付録 A.9 参照。	0..1	O
E	consumable	薬剤情報。	1..1	M
E	consumable/manufacturedProduct	薬剤情報。	1..1	M
E	consumable/manufacturedProduct/manufacturedLabeledDrug	薬剤情報。	1..1	M
E	consumable/manufacturedProduct/manufacturedLabeledDrug/code	薬剤コード。	1..1	M
A	consumable/manufacturedProduct/manufacturedLabeledDrug/code/@code	薬剤コードのニーモニック。	1..1	M
A	consumable/manufacturedProduct/manufacturedLabeledDrug/code/@codeSystem	薬剤コードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
A	consumable/manufacturedProduct/	薬剤コードのコード体系名。	0..1	O

	manufacturedLabeledDrug/code/@codeSystemName			
A	consumable/manufacturedProduct/ manufacturedLabeledDrug/code/@displayName	薬剤コードの表示名。	0..1	O

```
<substanceAdministration classCode="SBADM" moodCode="EVN">
  <text>パンスポリン T 錠100mg 6錠 1日3回 毎食後 3日分</text>
  <effectiveTime xsi:type="IVL_TS">
    <low value="20060401" />
    <high value="20060403" />
  </effectiveTime>
  <effectiveTime xsi:type="PIVL_TS" institutionSpecified="true"  operator="A" >
    <period value="8" unit="h"/>
  </effectiveTime>
  <effectiveTime xsi:type="EIVL_TS" operator="A" >
    <event code="PC" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.139"/>
  </effectiveTime>
  <doseQuantity>
    <center value="2" />
  </doseQuantity>
  <consumable>
    <manufacturedProduct>
      <manufacturedLabeledDrug>
        <code code="1109269" codeSystem="0.2.440.200134.100.96" />
        <name>パンスポリン T 錠100mg</name>
      </manufacturedLabeledDrug>
    </manufacturedProduct>
  </consumable>
</substanceAdministration>
```

4.11.1.2. 頻度情報の記述

substanceAdministration 要素の effectiveTime 要素によって薬剤投与の頻度情報を記述する。effectiveTime 要素は複数繰り返し出現することができ、頻度情報は 2 つ目以降の effectiveTime 要素によって記述し、複数の effectiveTime 要素による投与情報の連言(AND)で記述する。

(1) 周期的な投与の記述。

「○時間おきに投与」といった周期的な投与頻度を記述する。「1 日 3 回」という頻度は、「8 時間おき」という頻度して記述する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/ entry/organizer/component/organizer/component/substanceAdministration/effectiveTime		0..*	O
A	@xsi :type	“PIVL_TS”固定。	1..1	M
A	@institutionSpecified	施設固有の時間かどうかを示す。true または false の値をとる。	0..1	O
A	@operator	“A”固定。	1..1	M
E	period	投与周期。	1..1	M
A	period/ @value	投与周期。	1..1	M
A	period/ @unit	投与周期の単位。	1..1	M

```
<effectiveTime xsi:type="PIVL_TS" institutionSpecified="true"  operator="A" >
    <period value="8" unit="h"/>
</effectiveTime>
```

(2) イベントに基づく投与の記述。

例えば「朝夕食後」、「毎食後」といった投与情報を記述する。タイミングの記述には HL7 ボキャブラリドメイン TimingEvent で定義されるコードを使用する。詳細は付録 A.8 を参照。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/component/section/entry/organizer/component/organizer/component/substanceAdministration/effectiveTime		0..*	O
A	@xsi :type	“EIVL_TS”固定。	1..1	M
A	@operator	“A”固定。	1..1	M
E	event	イベントを識別するコード。HL7 ボキャブラリドメイン TimingEvent の値を指定する。付録 A.8 を参照。	1..1	M
A	event/ @code	イベントを識別するコードのニーモニック。	1..1	M
A	event/ @codeSystem	イベントを識別するコードのコード体系を識別する OID。“2.16.840.1.113883.5.139”固定。	1..1	M
A	event/@codeSystemName	イベントを識別するコードのコード体系名。“TimingEvent”固定。	0..1	O
A	event/@displayName	イベントを識別するコードの表示名。	0..1	O

```
<effectiveTime xsi:type="EIVL_TS" operator="A" >
    <event code="PC" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.139" />
</effectiveTime>
```

4.11.1.3. 例

薬剤情報の XML 例を示す。

処方日	2006 年 4 月 1 日
RP 1	ダーゼン錠5mg 3錠
	バンスポリン T 錠100mg 6錠
	1 日 3 回 毎食後 3 日分
RP 2	アレビアチン10倍酸 100mg
	1 日 2 回 朝夕食後 7 日分

```
<section>
  <code code="JMA-CURMED" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>現処方</title>
  <component>
    <section>
      <code code="JMA-MED" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
      <title>薬剤</title>
      <text>
        <list>
          <item>処方日 2006 年 4 月 1 日</item>
          <item>1. ダーゼン錠 5mg 3錠</item>
          <item>バンスポリン T 錠100mg 6錠</item>
          <item>1日3回 毎食後 3日分</item>
          <item>2. アレビアチン10倍散 100mg 1日2回 朝夕食後 7 日分</item>
        </list>
      </text>
      <entry>
        <organizer classCode="CLUSTER" moodCode="EVN">
          <component>
            <sequenceNumber value="1"/>
            <organizer classCode="CLUSTER" moodCode="EVN">
              <component>
                <substanceAdministration classCode="SBADM" moodCode="EVN">
                  <text>ダーゼン錠 5mg 3錠 1日3回 毎食後 3日分</text>
                  <effectiveTime xsi:type="IVL_TS">
                    <low value="20060401" />
                    <high value="20060403" />
                  </effectiveTime>
                  <effectiveTime xsi:type="PIVL_TS" institutionSpecified="true"
                    operator="A" >
                    <period value="8" unit="h"/>
                  </effectiveTime>
                  <effectiveTime xsi:type="EIVL_TS" operator="A" >
                    <event code="PC" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.139"/>
                  </effectiveTime>
```

```
            <doseQuantity>
                <center value="1" />
            </doseQuantity>
            <consumable>
              <manufacturedProduct>
                <manufacturedLabeledDrug>
                  <code code="1086652"
                    codeSystem="0.2.440.200134.100.96" />
                  <name>ダーゼン錠 5mg</name>
                </manufacturedLabeledDrug>
              </manufacturedProduct>
            </consumable>
          </substanceAdministration>
        </component>
        <component>
          <substanceAdministration classCode="SBADM" moodCode="EVN">
            <text>パンスポリンＴ錠100mg 6錠 1日3回 毎食後 3日分</text>
            <effectiveTime xsi:type="IVL_TS">
              <low value="20060401" />
               <high value="20060403" />
            </effectiveTime>
            <effectiveTime xsi:type="PIVL_TS" institutionSpecified="true"
              operator="A" >
              <period value="8" unit="h"/>
            </effectiveTime>
            <effectiveTime xsi:type="EIVL_TS" operator="A" >
              <event code="PC" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.139"/>
            </effectiveTime>
            <doseQuantity>
              <center value="2" />
            </doseQuantity>
            <consumable>
              <manufacturedProduct>
                <manufacturedLabeledDrug>
                  <code code="1109269"
                    codeSystem="0.2.440.200134.100.96"/>
                  <name>パンスポリンＴ錠100mg</name>
                </manufacturedLabeledDrug>
              </manufacturedProduct>
            </consumable>
          </substanceAdministration>
        </component>
      </organizer>
    </component>
  </organizer>
```

```
        <organizer classCode="CLUSTER" moodCode="EVN">
          <component>
            <sequenceNumber value="2"/>
             <organizer classCode="CLUSTER" moodCode="EVN">
               <component>
                 <substanceAdministration classCode="SBADM" moodCode="EVN">
                   <text>アレピアチン10倍散　100mg　1日2回　朝夕食後　7 日分</text>
                   <effectiveTime xsi:type="IVL_TS">
                     <low value="20060401" />
                      <high value="20060407" />
                   </effectiveTime>
                   <effectiveTime xsi:type="PIVL_TS" institutionSpecified="true"
                    operator="A" >
                    <period value="12" unit="h"/>
                   </effectiveTime>
                   <effectiveTime xsi:type="EIVL_TS" operator="A" >
                     <event code="PCM" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.139"/>
                   </effectiveTime>
                   <effectiveTime xsi:type="EIVL_TS" operator="A" >
                     <event code="PCV" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.139"/>
                   </effectiveTime>
                   <doseQuantity>
                     <center value="50" unit="mg"/>
                   </doseQuantity>
                   <consumable>
                     <manufacturedProduct>
                       <manufacturedLabeledDrug>
                         <code code="1109269"
                           codeSystem="0.2.440.200134.100.1.96 " />
                         <name>アレピアチン10倍散</name>
                       </manufacturedLabeledDrug>
                     </manufacturedProduct>
                   </consumable>
                 </substanceAdministration>
               </component>
             </organizer>
          </component>
        </organizer>
      </entry>
    </section>
  </component>
</section>
```

4.11.1.4. 投与の有無

薬剤投与がない場合には、substanceAdministration 要素の nagationInd 属性に”true”を指定することで、投与が明示的に無いという事実を示す。

```
<section>
  <code code="JMA-CURMED" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>現処方</title>
  <component>
    <section>
      <code code=" JMA-MED " codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
      <title>薬剤</title>
      <text>投与なし</text>
      <entry>
        <substanceAdministration classCode="SBADM" moodCode="EVN"
          negationInd="true" />
      </entry>
    </section>
  </component>
</section>
```

4.11.2. 注射

[必須 (M)]

患者の処方(注射)に関する情報を記述する。テキスト情報だけでなく、エントリ部に substanceAdministration 要素を使用してコード化された情報としても記述する。注射の投与がない場合には、薬剤投与と同様に、明示的に投与無しという情報を記述する。サブセクションのセクションコードには、JMA セクションコード”**JMA-INJ**”を指定する。また、サブセクションのセクションタイトルには「**注射**」を指定する。注射情報は、セクションコード及びセクションタイトルに指定すべき値が異なるだけで、他の項目は薬剤情報と同一である。

```
<section>
  <code code="JMA-CURMED" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
    codeSystemName="JMASectionCode" />
  <title>現処方</title>
  <component>
    <section>
      <code code="JMA-INJ" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
      <title>注射</title>
      <text>
        <list>
          <item>処方日　2006 年 4 月 1 日</item>
          <item>1. セファミジン（1g）　1バイアル</item>
          <item>生理食塩注　1 瓶</item>
          <item>12 時間毎　1 時間で点滴　3 日間</item>
        </list>
      </text>
      <entry>
        <organizer classCode="CLUSTER" moodCode="EVN">
          <component>
            <sequenceNumber value="1"/>
            <organizer classCode="CLUSTER" moodCode="EVN">
              <component>
                <substanceAdministration classCode="SBADM" moodCode="EVN">
                  <text>セファミジン(1g)　1 バイアル　12 時間毎　1 時間で点滴</text>
                  <effectiveTime xsi:type="IVL_TS">
                    <low value="20060401" />
                    <high value="20060403" />
                  </effectiveTime>
                  <effectiveTime xsi:type="PIVL_TS" institutionSpecified="true"
                    operator="A" >
                    <period value="12" unit="h"/>
                  </effectiveTime>
                  <routeCode code="IV" codeSystem="2.840.1.113883.5.112"
                    codeSystemName="RouteOfAdministration"
                    displayName="Infusion, intravenous" />
                  <doseQuantity>
                      <center value="1" />
                  </doseQuantity>
                  <rateQuantity>
                      <center value="1" unit="g/h" />
                  </rateQuantity>
                  <consumable>
                    <manufacturedProduct>
                      <manufacturedLabeledDrug>
                        <code code="1109634" codeSystem="0.2.440.200134.100.96" />
                        <name>セファミジン(1mg)</name>
                      </manufacturedLabeledDrug>
                    </manufacturedProduct>
                  </consumable>
                </substanceAdministration>
              </component>
```

```
            <component>
              <substanceAdministration classCode="SBADM" moodCode="EVN">
                <text>生理食塩注(100ml) 1瓶 12時間毎 1時間で点滴</text>
                <effectiveTime xsi:type="IVL_TS">
                  <low value="20060401" />
                  <high value="20060403" />
                </effectiveTime>
                <effectiveTime xsi:type="PIVL_TS" institutionSpecified="true"
                  operator="A" >
                  <period value="12" unit="h"/>
                </effectiveTime>
                <routeCode code="IV" codeSystem="2.840.1.113883.5.112"
                  codeSystemName="RouteOfAdministration"
                  displayName="Infusion, intravenous"/>
                <doseQuantity>
                    <center value="1" />
                </doseQuantity>
                <rateQuantity>
                    <center value="100" unit="ml/h" />
                </rateQuantity>
                <consumable>
                  <manufacturedProduct>
                    <manufacturedLabeledDrug>
                      <code code="1076677"
                        codeSystem="0.2.440.200134.100.96" />
                      <name>生理食塩注(100ml)</name>
                    </manufacturedLabeledDrug>
                  </manufacturedProduct>
                </consumable>
              </substanceAdministration>
            </component>
          </organizer>
        </component>
      </organizer>
    </entry>
  </section>
 </component>
</section>
```

4.12. 手術・処置

[オプショナル（O)]

このセクションは、患者が受けた手術、処置情報をテキストにより記述する。セクションコードには、JMA セクションコード”**JMA-SUG**”を指定する。セクションタイトルには「**手術処置**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
E	code	「手術処置」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。“**JMA-SUG**” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。 “**0.2.440.200134.100.1**” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合“**JMASectionCode**”を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合“**手術処置**”を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**手術処置**」固定。	1..1	M
E	text	手術処置内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
    <code code="JMA-SUG" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>手術処置</title>
    <text>
        <list>
            <item>虫垂切除術　S60.3.1　外科</item>
            <item>胃切除術(単純切除術)　H10.7.12　外科</item>
        </list>
    </text>
</section>
```

4.13. 備考

[オプショナル（O)]

このセクションは、備考情報を叙述ブロックにテキストとして記述する。クションコードには、JMA セクションコード”**JMA-NOTE**”を指定する。セクションタイトルには「**備考**」を指定する。

要素(E)/属性(A)	XPath		多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
E	code	「備考」セクションを示すコード。	1..1	M
A	code/@code	セクションコードのニーモニック。“**JMA-NOTE**” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別するOID。 “**0.2.440.200134.100.1**” 固定。	1..1	M
A	code/@codeSystemName	セクションコードのコード体系名。省略可能であるが、指定する場合“**JMASectionCode**”を指定。	0..1	O
A	code/@displayName	セクションコードの表示名。省略可能であるが、指定する場合“**備考**”を指定。	0..1	O
E	title	セクションタイトル。「**備考**」固定。	1..1	M
E	text	備考内容のテキスト記述。	1..1	M

```
<section>
    <code code="JMA-NOTE" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>備考</title>
    <text>卒業式が近いので手術の日程にはご配慮下さい。</text>
</section>
```

付録 A. ボキャブラリドメイン

本仕様で使用されるコード体系とコード値を示す。

A.1. AdministrativeGender

患者の（管理上の）性別コード。

コード体系名： AdministrativeGender
コード体系 OID： 2.16.840.1.11383.5.1

コード	表示名	説明
M	男性（Male）	男性。
F	女性（Female）	女性。
UN	区別できない（Undifferentiated）	性別が区別できない場合。

A.2. Confidentiality

守秘レベルコード。

コード体系名： Confidentiality
コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.25
値集合名： x_BasicConfidentialityKind

コード	表示名	説明
N	normal	通常の守秘規則が適用される。合法的な医療もしくは事務処理において必要性を持つ認証された人のみがアクセスできる。
R	restricted	患者の現在の診療に関係する医師のみに制限されたアクセス。
V	Very restricted	診療記録を管理するPrivacy officerにより、特に制限されると宣言されたもの。

A.3. MediaType

IANA（Internet Assignes Numbers Authority）の MIME メディアタイプ。

コード体系名： MediaType
コード体系 OID： 2.16.840.1.11383.5.79

コード	表示名	説明
application/dicom	DICOM	RFC3240 で規定される DICOM の MIME タイプ。
application/msword	MSWORD	Microsofot Wordドキュメント。
application/pdf	PDF	PDFドキュメント。
audio/basic	Basic Audio	AU 形式音声データ。
audio/k32adpcm	K32ADPCM Audio	ADPCM 形式音声データ。
audio/mpeg	MPEG audio layer 3	MP3 形式音声データ。
image/g3fax	G3Fax Image	G3FAX 画像。
image/gif	GIF Image	GIF 画像。
image/jpeg	JPEG Image	JPEG 画像。
image/png	PNG Image	PNG 画像。
image/tiff	TIFF Image	TIFF 画像。
model/vrml	VRML Model	VRML モデル。
multipart/x-hl7-cda-level1	CDA Level 1 Multipart	CDA レベル 1 MIME パッケージ。
text/html	HTML Text	HTML 形式。
text/plain	Plain Text	テキスト形式。
text/rtf	RTF Text	RTF テキスト形式。

text/sgml	SGML Text	SGML 形式。
text/x-hl7-ft	HL7 Text	HL7 v2.x　FT データ型。
text/xml	XML Text	XML 形式。
video/mpeg	MPEG Video	MPEG 動画形式。
video/x-avi	X-AVI Video	AVI 動画形式。

A.4. NullFlavor

例外値（ヌル値・不明値・欠損値）が送信される場合に、適切な値が送られない理由を識別するコード。

コード体系名： NullFlavor
コード体系 OID： 2.16.840.1.11383.5.1008

コード	表示名	説明
NI	NoInformation	もっとも一般的な例外値。
OTH	other	実際の値は、変数の値域内の要素ではない（例えば、要求されたコード体系の中に概念が存在しない）。
NINF	negative infinity	負の無限大。
PINF	positive infinity	正の無限大。
UNK	unknown	適切な値が利用可能であるが不明。
ASKU	asked but unknown	情報は追求されたが分からなかった。
NAV	temporarity unavailable	情報は一時的に利用できない。
NASK	not asked	情報は追求されなかった。
TRC	trace	0 以上の値であるが僅少である。
MSK	masked	利用可能なデータが存在するが、セキュリティやプライバシ上の理由で提供されなかった。
NA	not applicable	適切な値が利用可能でない。
NP	not present	メッセージ中に存在しない。

A.5. RouteOfAdministration

処方・注射情報において、投薬経路を表すコード。

コード体系名： RouteOfAdministration
コード体系 OID： 2.16.840.1.11383.5.112

コード	表示名	説明
CHEW	Chew, oral	Chew, oral
EXTCORPDIF	Diffusion, extracorporeal	Diffusion, extracorporeal
HEMODIFF	Diffusion, hemodialysis	Diffusion, hemodialysis
TRNSDERMD	Diffusion, transdermal	Diffusion, transdermal
DISSOLVE	Dissolve, oral	Dissolve, oral
SL	Dissolve, sublingual	Dissolve, sublingual
DOUCHE	Douche, vaginal	Douche, vaginal
ELECTOSMOS	Electro-osmosis	Electro-osmosis
ENEMA	Enema, rectal	Enema, rectal
RETENEMA	Enema, rectal retention	Enema, rectal retention
IVFLUSH	Flush, intravenous catheter	Flush, intravenous catheter
IDIMPLNT	Implantation, intradermal	Implantation, intradermal
IVITIMPLNT	Implantation, intravitreal	Implantation, intravitreal
SQIMPLNT	Implantation, subcutaneous	Implantation, subcutaneous
IV	Infusion, intravenous	Infusion, intravenous
IVC	Infusion, intravenous catheter	Infusion, intravenous catheter

IVCC	Infusion, intravenous catheter, continuous	Infusion, intravenous catheter, continuous
IVCI	Infusion, intravenous catheter, intermittent	Infusion, intravenous catheter, intermittent
PCA	Infusion, intravenous catheter, pca pump	Infusion, intravenous catheter, pca pump
EPI	Infusion, epidural	Infusion, epidural
IA	Infusion, intraarterial catheter	Infusion, intraarterial catheter
IC	Infusion, intracardiac	Infusion, intracardiac
ICOR	Infusion, intracoronary	Infusion, intracoronary
IOSSC	Infusion, intraosseous, continuous	Infusion, intraosseous, continuous
IT	Infusion, intrathecal	Infusion, intrathecal
IVASCINFUS	Infusion, intravascular	Infusion, intravascular
SQINFUS	Infusion, subcutaneous	Infusion, subcutaneous
NASINHL	Inhalation, nasal	Inhalation, nasal
NP	Inhalation, nasal cannula	Inhalation, nasal, prongs
NEB	Inhalation, nebulization	Inhalation, nebulization
NASNEB	Inhalation, nebulization, nasal	Inhalation, nebulization, nasal
ORNEB	Inhalation, nebulization, oral	Inhalation, nebulization, oral
IPINHL	Inhalation, intrapulmonary	Inhalation, oral
ORINHL	Inhalation, intrapulmonary	Inhalation, oral
RESPINHL	Inhalation, intrapulmonary	Inhalation, oral
IPPB	Inhalation, intermittent positive pressure breathing (ippb)	Inhalation, intermittent positive pressure breathing (ippb)
TRACH	Inhalation, tracheostomy	Inhalation, tracheostomy
VENT	Inhalation, ventilator	Inhalation, ventilator
VENTMASK	Inhalation, ventimask	Inhalation, ventimask
IAINJ	Injection, intraarterial	Injection, intraarterial
IAINJP	Injection, intraarterial, push	Injection, intraarterial, push
IAINJSP	Injection, intraarterial, slow push	Injection, intraarterial, slow push
ICARDINJ	Injection, intracardiac	Injection, intracardiac
ICARDINJRP	Injection, intracardiac, rapid push	Injection, intracardiac, rapid push
ICARDINJSP	Injection, intracardiac, slow push	Injection, intracardiac, slow push
ICARINJP	Injection, intracardiac, push	Injection, intracardiac, push
ICORONINJ	Injection, intracoronary	Injection, intracoronary
ICORONINJP	Injection, intracoronary, push	Injection, intracoronary, push
IM	Injection, intramuscular	Injection, intramuscular
IMD	Injection, intramuscular, deep	Injection, intramuscular, deep
IMZ	Injection, intramuscular, z track	Injection, intramuscular, z track
IVINJ	Injection, intravenous	Injection, intravenous
IVINJBOL	Injection, intravenous, bolus	Injection, intravenous, bolus
IVPUSH	Injection, intravenous, push	Injection, intravenous, push
IVRPUSH	Injection, intravenous, rapid push	Injection, intravenous, rapid push
IVSPUSH	Injection, intravenous, slow push	Injection, intravenous, slow push
AMNINJ	Injection, amniotic fluid	Injection, amniotic fluid
BILINJ	Injection, biliary tract	Injection, biliary tract
BLADINJ	Injection, urinary bladder	Injection, urinary bladder
CERVINJ	Injection, cervical	Injection, cervical
CHOLINJ	Injection, for cholangiography	Injection, for cholangiography
ENDOSININJ	Injection, endosinusial	Injection, endosinusial
EPIDURINJ	Injection, epidural	Injection, epidural
EPIINJ	Injection, epidural, push	Injection, epidural, push

EPINJSP	Injection, epidural, slow push	Injection, epidural, slow push
EXTCORPINJ	Injection, extracorporeal	Injection, extracorporeal
EXTRAMNINJ	Injection, extra-amniotic	Injection, extra-amniotic
GBINJ	Injection, gastric button	Injection, gastric button
GINGINJ	Injection, gingival	Injection, gingival
HEMOPORT	Injection, hemodialysis port	Injection, hemodialysis port
IABDINJ	Injection, intra-abdominal	Injection, intra-abdominal
IARTINJ	Injection, intraarticular	Injection, intraarticular
IBURSINJ	Injection, intrabursal	Injection, intrabursal
ICARTINJ	Injection, intracartilaginous	Injection, intracartilaginous
ICAUDINJ	Injection, intracaudal	Injection, intracaudal
ICAVINJ	Injection, intracavernous	Injection, intracavernous
ICAVITINJ	Injection, intracavitary	Injection, intracavitary
ICEREBINJ	Injection, intracerebral	Injection, intracerebral
ICISTERNINJ	Injection, intracisternal	Injection, intracisternal
ICORPCAVINJ	Injection, intracorpus cavernosum	Injection, intracorpus cavernosum
IDINJ	Injection, intradermal	Injection, intradermal
IDISCINJ	Injection, intradiscal	Injection, intradiscal
IDUCTINJ	Injection, intraductal	Injection, intraductal
IDURINJ	Injection, intradural	Injection, intradural
IEPIDINJ	Injection, intraepidermal	Injection, intraepidermal
IEPITHINJ	Injection, intraepithelial	Injection, intraepithelial
ILESINJ	Injection, intralesional	Injection, intralesional
ILUMINJ	Injection, intraluminal	Injection, intraluminal
ILYMPJINJ	Injection, intralymphatic	Injection, intralymphatic
IMEDULINJ	Injection, intramedullary	Injection, intramedullary
INTERMENINJ	Injection, interameningeal	Injection, interameningeal
INTERSTITINJ	Injection, interstitial	Injection, interstitial
IOINJ	Injection, intraocular	Injection, intraocular
IOSSINJ	Injection, intraosseous	Injection, intraosseous
IOVARINJ	Injection, intraovarian	Injection, intraovarian
IPCARDINJ	Injection, intrapericardial	Injection, intrapericardial
IPERINJ	Injection, intraperitoneal	Injection, intraperitoneal
IPINJ	Injection, intrapulmonary	Injection, intrapulmonary
IPLRINJ	Injection, intrapleural	Injection, intrapleural
IPROSTINJ	Injection, intraprostatic	Injection, intraprostatic
IPUMPINJ	Injection, insulin pump	Injection, insulin pump
ISINJ	Injection, intraspinal	Injection, intraspinal
ISTERINJ	Injection, intrasternal	Injection, intrasternal
ISYNINJ	Injection, intrasynovial	Injection, intrasynovial
ITENDINJ	Injection, intratendinous	Injection, intratendinous
ITESTINJ	Injection, intratesticular	Injection, intratesticular
ITHORINJ	Injection, intrathoracic	Injection, intrathoracic
ITINJ	Injection, intrathecal	Injection, intrathecal
ITUBINJ	Injection, intratubular	Injection, intratubular
ITUMINJ	Injection, intratumor	Injection, intratumor
ITYMPINJ	Injection, intratympanic	Injection, intratympanic
IUINJ	Injection, intrauterine	Injection, intracervical (uterus)
IUINJC	Injection, intracervical (uterus)	Injection, intracervical (uterus)

IURETINJ	Injection, intraureteral, retrograde	Injection, intraureteral, retrograde
IVASCINJ	Injection, intravascular	Injection, intravascular
IVENTINJ	Injection, intraventricular (heart)	Injection, intraventricular (heart)
IVESINJ	Injection, intravesicle	Injection, intravesicle
IVITINJ	Injection, intravitreal	Injection, intravitreal
PAINJ	Injection, periarticular	Injection, periarticular
PARENTINJ	Injection, parenteral	Injection, parenteral
PDONTINJ	Injection, periodontal	Injection, periodontal
PDPINJ	Injection, peritoneal dialysis port	Injection, peritoneal dialysis port
PDURINJ	Injection, peridural	Injection, peridural
PNINJ	Injection, perineural	Injection, perineural
PNSINJ	Injection, paranasal sinuses	Injection, paranasal sinuses
RBINJ	Injection, retrobulbar	Injection, retrobulbar
SCINJ	Injection, subconjunctival	Injection, subconjunctival
SLESINJ	Injection, sublesional	Injection, sublesional
SOFTISINJ	Injection, soft tissue	Injection, soft tissue
SQ	Injection, subcutaneous	Injection, subcutaneous
SUBARACHINJ	Injection, subarachnoid	Injection, subarachnoid
SUBMUCINJ	Injection, submucosal	Injection, submucosal
TRPLACINJ	Injection, transplacental	Injection, transplacental
TRTRACHINJ	Injection, transtracheal	Injection, transtracheal
URETHINJ	Injection, urethral	Injection, urethral
URETINJ	Injection, ureteral	Injection, ureteral
CERVINS	Insertion, cervical (uterine)	Insertion, cervical (uterine)
IOSURGINS	Insertion, intraocular, surgical	Insertion, intraocular, surgical
IU	Insertion, intrauterine	Insertion, intrauterine
LPINS	Insertion, lacrimal puncta	Insertion, lacrimal puncta
PR	Insertion, rectal	Insertion, rectal
SQSURGINS	Insertion, subcutaneous, surgical	Insertion, subcutaneous, surgical
URETHINS	Insertion, urethral	Insertion, urethral
VAGINSI	Insertion, vaginal	Insertion, vaginal
RECINSTL	Instillation, rectal	Instillation, rectal
RECTINSTL	Instillation, rectal tube	Instillation, rectal tube
BLADINSTL	Instillation, urinary catheter	Instillation, urinary catheter
CAPDINSTL	Instillation, continuous ambulatory peritoneal dialysis port	Instillation, continuous ambulatory peritoneal dialysis port
CECINSTL	Instillation, cecostomy	Instillation, cecostomy
CTINSTL	Instillation, chest tube	Instillation, chest tube
EFT	Instillation, enteral feeding tube	Instillation, enteral feeding tube
ENTINSTL	Instillation, enteral	Instillation, enteral
ETINSTL	Instillation, endotracheal tube	Instillation, endotracheal tube
GJT	Instillation, gastro–jejunostomy tube	Instillation, gastro–jejunostomy tube
GT	Instillation, gastrostomy tube	Instillation, gastrostomy tube
IBRONCHINSTIL	Instillation, intrabronchial	Instillation, intrabronchial
IDUODINSTIL	Instillation, intraduodenal	Instillation, intraduodenal
IESOPHINSTIL	Instillation, intraesophageal	Instillation, intraesophageal
IGASTINSTIL	Instillation, intragastric	Instillation, intragastric
IILEALINJ	Instillation, intraileal	Instillation, intraileal
IOINSTL	Instillation, intraocular	Instillation, intraocular

ISININSTIL	Instillation, intrasinal	Instillation, intrasinal
ITRACHINSTIL	Instillation, intratracheal	Instillation, intratracheal
IUINSTL	Instillation, intrauterine	Instillation, intrauterine
JJTINSTL	Instillation, jejunostomy tube	Instillation, jejunostomy tube
LARYNGINSTIL	Instillation, laryngeal	Instillation, laryngeal
NASALINSTIL	Instillation, nasal	Instillation, nasal
NASOGASINSTIL	Instillation, nasogastric	Instillation, nasogastric
NGT	Instillation, nasogastric tube	Instillation, nasogastric tube
NTT	Instillation, nasotracheal tube	Instillation, nasotracheal tube
OGT	Instillation, orogastric tube	Instillation, orogastric tube
OJJ	Instillation, orojejunum tube	Instillation, orojejunum tube
OT	Instillation, otic	Instillation, otic
PDPINSTL	Instillation, peritoneal dialysis port	Instillation, peritoneal dialysis port
PNSINSTL	Instillation, paranasal sinuses	Instillation, paranasal sinuses
SININSTIL	Instillation, sinus, unspecified	Instillation, sinus, unspecified
SOFTISINSTIL	Instillation, soft tissue	Instillation, soft tissue
TRACHINSTL	Instillation, tracheostomy	Instillation, tracheostomy
TRTYMPINSTIL	Instillation, transtympanic	Instillation, transtympanic
URETHINSTL	instillation, urethral	Instillation, urethral
IONTO	Topical application, iontophoresis	Topical application, iontophoresis
BLADIRR	Irrigation, urinary bladder	Irrigation, urinary bladder
BLADIRRC	Irrigation, urinary bladder, continuous	Irrigation, urinary bladder, continuous
BLADIRRT	Irrigation, urinary bladder, tidal	Irrigation, urinary bladder, tidal
GUIRR	Irrigation, genitourinary	Irrigation, genitourinary
IGASTIRR	Irrigation, intragastric	Irrigation, intragastric
ILESIRR	Irrigation, intralesional	Irrigation, intralesional
IOIRR	Irrigation, intraocular	Irrigation, intraocular
RECIRR	Irrigation, rectal	Irrigation, rectal
IGASTLAV	Lavage, intragastric	Lavage, intragastric
IDOUDMAB	Mucosal absorption, intraduodenal	Mucosal absorption, intraduodenal
ITRACHMAB	Mucosal absorption, intratracheal	Mucosal absorption, intratracheal
SMUCMAB	Mucosal absorption, submucosal	Mucosal absorption, submucosal
ETNEB	Nebulization, endotracheal tube	Nebulization, endotracheal tube
DENRINSE	Rinse, dental	Rinse, dental
ORRINSE	Rinse, oral	Rinse, oral
URETHSUP	Suppository, urethral	Suppository, urethral
SWISHSPIT	Swish and spit out, oromucosal	Swish and spit out, oromucosal
SWISHSWAL	Swish and swallow, oromucosal	Swish and swallow, oromucosal
TTYMPTABSORP	Topical absorption, transtympanic	Topical absorption, transtympanic
BUC	Topical application, buccal	Topical application, buccal
CERV	Topical application, cervical	Topical application, cervical
DEN	Topical application, dental	Topical application, dental
DRESS	Topical application, soaked dressing	Topical application, soaked dressing
GIN	Topical application, gingival	Topical application, gingival
HAIR	Topical application, hair	Topical application, hair
ICORNTA	Topical application, intracorneal	Topical application, intracorneal
ICORONTA	Topical application, intracoronal (dental)	Topical application, intracoronal (dental)
IESOPHTA	Topical application, intraesophageal	Topical application, intraesophageal
IILEALTA	Topical application, intraileal	Topical application, intraileal

ILTOP	Topical application, intralesional	Topical application, intralesional
ILUMTA	Topical application, intraluminal	Topical application, intraluminal
IONTO	Topical application, iontophoresis	Topical application, iontophoresis
IOTOP	Topical application, intraocular	Topical application, intraocular
LARYNGTA	Topical application, laryngeal	Topical application, laryngeal
MUC	Topical application, mucous membrane	Topical application, mucous membrane
NAIL	Topical application, nail	Topical application, nail
NASAL	Topical application, nasal	Topical application, nasal
OCDRESTA	Occlusive dressing technique	Occlusive dressing technique
OPTHALTA	Topical application, ophthalmic	Topical application, ophthalmic
ORALTA	Topical application, oral	Topical application, oral
ORMUC	Topical application, oromucosal	Topical application, oromucosal
OROPHARTA	Topical application, oropharyngeal	Topical application, oropharyngeal
PDONTTA	Topical application, periodontal	Topical application, periodontal
PERIANAL	Topical application, perianal	Topical application, perianal
PERINEAL	Topical application, perineal	Topical application, perineal
RECTAL	Topical application, rectal	Topical application, rectal
SCALP	Topical application, scalp	Topical application, scalp
SKIN	Topical application, skin	Topical application, skin
SUBCONJTA	Subconjunctival	Subconjunctival
SWAB	Topical application, swab	Topical application, swab
TMUCTA	Topical application, transmucosal	Topical application, transmucosal
TOPICAL	Topical	Topical
VAGINS	Topical application, vaginal	Insertion, vaginal
TRNSDERM	Transdermal	Transdermal
GARGLE	Gargle	Gargle
INSUF	Insufflation	Insufflation
PO	Swallow, oral	Swallow, oral
SHAMPOO	Shampoo	Shampoo
SOAK	Immersion (soak)	Immersion (soak)
SUCK	Suck, oromucosal	Suck, oromucosal
TRNSLING	Translingual	Translingual

A.6. StyleType

叙述ブロック内のテキストの表示上の様々な様相を制御するために用いられるコード。

コード体系名： StyleType
コード体系 OID： 2.16.840.1.11383.5.1098

コード	表示名	説明
BOLD	Bold Font	文字を表示する際のフォントを定義する。太字フォントで表示する。
EMPHASIS	Emphasised Font	文字を表示する際のフォントを定義する。強調フォントで表示する。
ITALICS	Italics Font	文字を表示する際のフォントを定義する。イタリックフォントで表示する。
UNDERLINE	Underline Font	文字を表示する際のフォントを定義する。下線フォントで表示する。
ARABIC	Arabig	順序付きリストの表示方法を定義する。項目番号にアラビア数字を使用する。
BIG.ALPHA	Big Alpha	順序付きリストの表示方法を定義する。項目番号に大文字アルファベットを使用する。
BIG.ROMAN	Big Roman	順序付きリストの表示方法を定義する。項目番号に大文字ローマ数字を使用する。
LITTLE.ALPHA	Little Alpha	順序付きリストの表示方法を定義する。項目番号に小文字アルファベットを使用する。
LITTLE.ROMAN	Little Roman	順序付きリストの表示方法を定義する。項目番号に小文字ローマ数字を使用する。
CIRCLE	Circle	順序無しリストの表示方法を定義する。見出し記号に白丸を使用する。
DISC	Disc	順序無しリストの表示方法を定義する。見出し記号に黒丸を使用する。
SQUARE	Square	順序無しリストの表示方法を定義する。見出し記号に正方形を用いる。
BOTRULE	Bottom Rule	表セルの表現方法を定義する。セルの下枠線を表示する。
LRULE	Left-sided rule	表セルの表現方法を定義する。セルの左枠線を表示する。
RRULE	Right-sided rule	表セルの表現方法を定義する。セルの右枠線を表示する。
TORULE	Top Rule	表セルの表現方法を定義する。セルの上枠線を表示する。

A.7. TelecommunicationAddressUse

遠隔通信アドレス（電話番号やメールアドレス）の使用法を識別するコード。

コード体系名： TelecommunicationAddressUse
コード体系 OID： 2.16.840.1.11383.5.1011

コード	表示名	説明
H	自宅 (home address)	自宅の通信アドレス。
HP	通常自宅 (primary home)	ビジネスアワー後の連絡先。
HV	休暇中自宅 (vacation home)	休暇中の連絡先。
WP	職場 (Work Place)	ビジネスアワー時の連絡において最初の選択肢となる、職場の連絡先。
DIR	職場直通 (Direct)	職場において個人または部署への直通の連絡先。
PUB	職場代表 (Public)	職場の代表アドレス。
BAD	誤った連絡先 (bad address)	アドレスが間違っていて使用できないことを示す。
TMP	一時的な連絡先 (temporary address)	一時的な連絡先。
AS	応答サービス (answering service)	留守番電話や自動アナウンスなどの応答サービス。
EC	緊急連絡先 (emergency contact)	緊急時の連絡において最初の選択肢となるアドレス。
MC	携帯電話 (mobile contact)	緊急時の連絡先に適している携帯電話のアドレス。
PG	ポケットベル (pager)	ポケットベルのアドレス。

A.8. TimingEvent

イベントに関連した周期間隔を指定する際のベースとなる、日常の生活の周期的な活動を識別するコード。

コード体系名： TimingEvent
コード体系 OID： 2.16.840.1.11383.5.139

コード	表示名	説明
AC	AC	食前。
ACD	ACD	昼食前。
ACM	ACM	朝食前。
ACV	ACV	夕食前。
HS	HS	就寝時。
IC	IC	食間。
ICD	ICD	昼食と夕食の間。
ICM	ICM	朝食と昼食の間。
ICV	ICV	夕食と就寝の間。
PC	PC	食後。
PCD	PCD	昼食後。
PCM	PCM	朝食後。
PCV	PCV	夕食後。

A.9. Unit

単位コード。代表的なものを表に示す。詳細は http://aurora.rg.iupui.edu/~schadow/units/UCUM/ を参照。

コード体系名： UCUM
コード体系 OID： 2.16.840.1.11383.6.8

コード	表示名	説明
Cel	Cel	℃
kg	kg	kilo gram
g	g	gram
mg	mg	milli gram
m	m	meter
cm	cm	centi meter
mm	mm	milli meter
l	l	litter
ml	ml	milli litter
mm[Hg]	mmHg	milli meter of mercury column
s	s	second
min	min	minute
h	h	hour
d	d	day
a	a	year
wk	wk	week
mo	mo	month

A.10. JMASectionCode

CDA のセクションコードとして使用するローカルコード。

コード体系名： JMASectionCode
コード体系 OID： 0.2.440.200134.100.1

コード	表示名	説明
JMA-PTINFO	患者情報	患者情報セクション。
JMA-DEMOG	背景情報	背景情報セクション。
JMA-OCUP	職業	職業セクション。
JMA-FAV	嗜好	嗜好セクション。
JMA-FAMSTR	家族構成	家族構成セクション。
JMA-ALGY	アレルギー情報	アレルギー情報セクション。
JMA-INFCT	感染症情報	感染症情報セクション。
JMA-RFR	紹介内容	紹介内容セクション。
JMA-ROR	目的	目的サブセクション。
JMA-REQ	希望	希望サブセクション。
JMA-ALRT	留意点	留意点セクション。
JMA-PASTHIST	既往歴	既往歴セクション。
JMA-FAMHIST	家族歴	家族歴セクション。
JMA-PREILL	現症	現症セクション。
JMA-CHCOMP	主訴	主訴セクション。
JMA-DISNM	病名	病名セクション。
JMA-VS	バイタルサイン	バイタルサインセクション。
JMA-DX	診断内容	診断内容セクション。
JMA-PILHIST	現病歴	現病歴セクション。
JMA-COSYMP	症状経過	症状経過セクション。
JMA-LAB	検査結果	検査結果セクション。
JMA-CURMED	現処方	現処方セクション。
JMA-MED	薬剤	薬剤セクション。
JMA-INJ	注射	注射セクション。
JMA-SUG	手術処置	手術処置セクション。
JMA-NOTE	備考	備考セクション。

A.11. 外部コード

本仕様内で使用可能な外部の標準コードを示す。ここで示すものは一例であり、これらのコードに限定するものではない。

A.11.1. 年齢

4.6.1.1 節 「年齢」を示すコードとして observation/code 要素で使用可能なコードの例は以下の通りである。

コード	表示名	コード体系名	コード体系 OID	備考
21612-7	AGE	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	報告された年齢(REPORTED)
29553-5	AGE	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	計算によって算出された年齢(CALCULATED)
MD0010130	患者.年齢	J-MIX	1.2.392.200119.3.1（予定）	

A.11.2. 血液型

4.6.1.2 節 「血液型」を示すコードとして observation/code 要素で使用可能なコードの例は以下の通りである。

コード	表示名	コード体系名	コード体系 OID	備考
883-9	ABO GROUP	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	ABO 式
10331-7	RH	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	Rh(D)式
882-1	ABO+RH GROUP	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	ABO & Rh(D)
MD0015390	ABO 式血液型.判定	J-MIX	1.2.392.200119.3.1（予定）	
MD0015410	RhoD 式血液型.判定	J-MIX	1.2.392.200119.3.1（予定）	
5H0100000018101	血液型 ABO 式	JC10	未定	
5H0200000018101	血液型 Rh(D)式	JC10	未定	

A.11.3. 身長

4.6.1.3 節 「身長」を示すコードとして observation/code 要素で使用可能なコードの例は以下の通りである。

コード	表示名	コード体系名	コード体系 OID	備考
8302-2	BODY HEIGHT	LOINC	2.16.840.1.11.3883.6.1	
3137-7	BODY HEIGHT	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	測定された値(MEASURED)
3138-5	BODY HEIGHT	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	報告された値(STATED)

A.11.4. 体重

4.6.1.4 節 「体重」を示すコードとして observation/code 要素で使用可能なコードの例は以下の通りである。

コード	表示名	コード体系名	コード体系 OID	備考
3141-9	BODY WEIGHT	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	測定された値(MEASURED)
3142-7	BODY WEIGHT	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	報告された値(STATED)

A.11.5. 血圧

4.9.3.1 節 「血圧」を示すコードとして、最高血圧と最低血圧の observation をグルーピングする親 observation の code 要素で使用可能なコードの例は以下の通りである。

コード	表示名	コード体系名	コード体系 OID	備考
18684-1	BLOOD PRESSURE	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	

「最高血圧」を示すコードとして observation/code 要素で使用可能なコードの例は以下の通りである。

コード	表示名	コード体系名	コード体系 OID	備考
8480-6	INTRAVASCULAR SYSTOLIC	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	

「最低血圧」を示すコードとして observation/code 要素で使用可能なコードの例は以下の通りである。

コード	表示名	コード体系名	コード体系 OID	備考
8462-4	INTRAVASCULAR DIASTOLIC	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	

A.11.6. 体温

4.9.3.2 節 「体温」を示すコードとして observation/code 要素で使用可能なコードの例は以下の通りである。

コード	表示名	コード体系名	コード体系 OID	備考
8310-5	BODY TEMPERATURE	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	

A.11.7. 脈拍数

4.9.3.3 節 「脈拍数」を示すコードとして observation/code 要素で使用可能なコードの例は以下の通りである。

コード	表示名	コード体系名	コード体系 OID	備考
11328-2	HEART BEAT	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	

A.11.8. 不整脈有無

4.9.3.4 節 「不整脈有無」を示すコードとして observation/code 要素で使用可能なコードの例は以下の通りである。

コード	表示名	コード体系名	コード体系 OID	備考
8884-9	RHYTHM	LOINC	2.16.840.1.113883.6.1	

付録 B. 叙述ブロックの記述について（Informative）

CDA R2 の叙述ブロックは、HTML に類似したタグを用いて、表やリストといった形式で人が可読可能なテキスト情報を表現することができる。本仕様書では、叙述ブロックの推奨する使用法について述べる。

B.1. <content>タグ

<content>要素で、テキスト中の文字列を囲むことにより、テキスト中のある文字列が明示的に参照されうるように、あるいは、表示するべき内容であることを明示的に示すことができる。<content>要素は再帰的に繰り返すことができる。

<content>要素は、参照の対象を保持するためのオプショナルな識別子を W3C XML 仕様で規定される ID 属性で指定することができる。このとき、W3C XML 仕様により、XML ID 属性の全ての値はその文書の中でユニークでなければならない。CDA エントリ中にある RIM 属性の originalText コンポーネントは、この ID への明示的な参照を記述することができる。これにより、CDA エントリ中の属性に関連するオリジナルテキストを指定する。

<content>要素はまた、オプショナルな"revised"属性を含む。これは、最新バージョンの CDA 文書からの変更を示すために用いる"insert"または"delete"の値をとる。ただし、この属性は一世代に限定され、あるドキュメントの１つ前のバージョンからの変更のみを反映する。

```
<section>
    <code code="JMA-PASTHIST" codeSystem="0.2.440.200134.100.1"
        codeSystemName="JMASectionCode" />
    <title>既往歴</title>
    <text>
        <content ID="a1">喘息</content>
    </text>
    <entry>
        <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="J459" codeSystem="2.16.840.113883.6.3"
                codeSystemName="ICD10">
                <originalText>
                    <reference value="#a1" />
                </originalText>
            </code>
        </observation>
    </entry>
</section>
```

B.2. <linkHtml>タグ

<linkHtml>要素は、HTML アンカータグに似た汎用的な参照であり、文書の内部または外部いずれかの参照識別子として使用される。<linkHtml>は、参照先のマルチメディア内容が、文書の署名対象に含まれる必要不可欠な構成要素ではない場合に使用する。文書の構成要素と考えられる場合には、と、<renderMultiMedica>要素によって参照される ObservationMedia CDA エントリを使用する。

参照のリンク元は、<linkhtml>要素の"href"属性を使用する。文書内部の参照先は、同一もしくは異なる叙述ブロック

内の他の要素で使用される XML ID 型の識別子、あるいは、CDA 文書の<section>、<observationMedia>、<renderMultiMedia>要素に追加された XML ID 属性を使用する。HTML の慣習に習い、文書内部への参照は、ポンドサイン(“#”)を前に付ける。

B.3. <sub>タグと<sup>タグ

上付き文字と下付き文字を示すために、<sub>と<sup>要素を使用することができる。受信者は、表示時に、上付き文字と下付き文字を視覚的に区別するために、これらの要素を解釈することが要求される。

B.4.
タグ

要素は、強制改行を示す際に使用することができる。受信者は、改行を表現するために、表示時にこの要素を解釈することが要求される。

B.5. <footnote>タグと<footnoteRef>タグ

脚注を示すために<footnote>タグを使用することができる。footnote 要素は、脚注と、脚注が適用されるテキストを含む。もし同じ脚注が複数回使用される場合には、footnoteRef 要素によって既存の脚注を参照することができる。fottnoteRef の IDREF 属性の値は、同じドキュメント内のいずれかの footnote 要素の ID 属性の値でなければならない。受信者は、表示時に、脚注テキストを視覚的に区別するために、これらの要素を解釈することが要求される。

B.6. <renderMultiMedia>タグ

<renderMultiMedia>タグは、CDA 文書に統合され、文書の署名対象としての構成要素となる外部のマルチメディアを参照し、参照されたマルチメディアをどこに表示すればよいかを示す。renderMultiMedia 要素は、オプショナルな<caption>タグを含み、XML IDREFS 型の referencedObject 属性を含む。その値は、同じドキュメント内の ObservationMedia エントリあるいは RegionOfInterest エントリのいずれかの XML ID 値と等しくなければならない。

B.7. <paragraph>タグ

<paragraph>タグは、HTML の<paragraph>タグと同様に、叙述ブロックの内容を論理的に一貫性のある構造に分割するために使用される。paragraph 要素は、標題を示すオプショナルな caption 要素を含むことができる。

B.8. <list>タグ

<list>タグは、HTML の<list>タグと同様のリスト構造を表現する。<list> タグは、オプショナルな caption 要素と一つ以上の item 要素を含む。<list>タグの listType 属性で、そのリストが順序付リストか順序無しリスト(デフォルト)のいずれかであることを示す。

B.9. <table>タグ

<table>タグは、HTML の<table>タグと同様の表構造を表現する。表タグはあくまで表示上の目的によるもので、データベースのテーブル構想とは異なり、意味のあるフィールド名を持たない。CDA の<table> タグは、書式設定用のタグを削除し、セルの内容モデルを、叙述ブロックの他の要素と同様の形で配置するように strict XHTML の表モデルを修正したものである。

B.10. <caption>タグ

<caption>タグは、段落、リスト、リスト項目、表、表セルに対するラベルを表現する。また、<renderMultiMedica>要素内

では、参照する ObservationMedia と RegionOfInterest エントリのためのラベルを示す。<caption>タグは、プレーンテキストを含み、オプショナルなリンクと脚注を含んでもよい。

B.11. styleCode 属性

styleCode 属性は、叙述ブロック内で使用される文字データの表示上の特性を作成者が提示できるようにするために使用される。ただし、受信者は、必ずしも提供されたスタイルのヒントを利用して文書を表示する必要はなく、ローカルのスタイルの慣習に従って表示することができる。スタイルコードの値は、StyleType ボキャブラリドメインで定義され、また適切なコードが存在しない場合には、ローカルで拡張可能である。 StyleType ボキャブラリドメインの詳細は付録 A.6 に示す。

付録 C. 識別子（Instance Identifier）について

CDA 文書内では、文書内で記述される特定のエンティティ(Entity)や行為(Act)を識別する ID を構成ために、データ型の中の識別子型(Instance Identifier)が使用される。II は、root と extension という 2 つの要素から構成される。root は、UID(Unique Identifier)型であり、全世界的に固有であることが保証されている識別子である。UID の具体的な例として、OID (ISO Object Identifier)または UUID（DCE Universal Unique Identifier）がある。

OID は、ドッドつき 10 進数記法で表現される。ここで、各 10 進数は、0 か、0 以外の数字ではじまり、形式的には、OID は、形式 [0-2](¥.(0|[1-9][0-9]*))*で表現される。OID は階層として管理されており、ある OID の階層の一部分に責任を持つ組織は、その階層以下のノードに対する識別子の割り当てを任されている。例えば、HL7 協会 の OID は、2.16.840.1.113883 である。

UUID は、形式 xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx, で、表現される。ここで、各 x は、集合[A-Fa-f0-9]の中の文字である。

OID と UUID の使い分けに関して、一般に、組織や人、手続きによって管理されまた人が解釈する必要のある識別子については OID を使用する。一方、オーダ ID のように、機器やソフトウェアによって生成され人が解釈する必要ない識別子に対しては、UUID の使用が適している。

本仕様書で使用する OID のうち、日本医師会が管理する OID は以下のとおりである。

OID	説明
0.2.440.200134	日本医師会
0.2.440.200134.100	日本医師会内部コード用 OID のルート
0.2.440.200134.100.1	JMA セクションコード
0.2.440.200134.200	名前空間用 OID のルート
0.2.440.200134.200.1	医籍 ID
0.2.440.200134.200.2	医療機関 ID（保険医療機関コード）
0.2.440.200134.200.3	テンプレート ID

付録 D. 参考文献

[1] Clinical Document Architecture, Release 2, HL7, Inc. 2005.

[2] XML Path Language (XPath) Version 1.0, W3C Recommendation 16 November 1999. Available at http://www.w3.org/TR/1999/REC-xpath-19991116.

[3] 患者診療情報提供書規格 Ver 1.00, 日本 HL7 協会, 2006, Available at http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf.